



取扱説明書

保証書別添付

日立自然冷媒(CO₂) ヒートポンプ給湯機 給湯専用タイプ

・オートストップタイプ

システム型式 BHP-ZA37FU

貯湯タンクユニット型式 BHP-TAZA371

ヒートポンプユニット型式 BHP-HA451

システム型式 BHP-ZA46FU

貯湯タンクユニット型式 BHP-TAZA461

ヒートポンプユニット型式 BHP-HA601

・標準タイプ

システム型式 BHP-Z37FU

貯湯タンクユニット型式 BHP-TAZ371

ヒートポンプユニット型式 BHP-HA451

システム型式 BHP-Z46FU

貯湯タンクユニット型式 BHP-TAZ461

ヒートポンプユニット型式 BHP-HA601

このたびは日立自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・工事説明書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→P.5~9をお読みいただき、正しくお使いください。



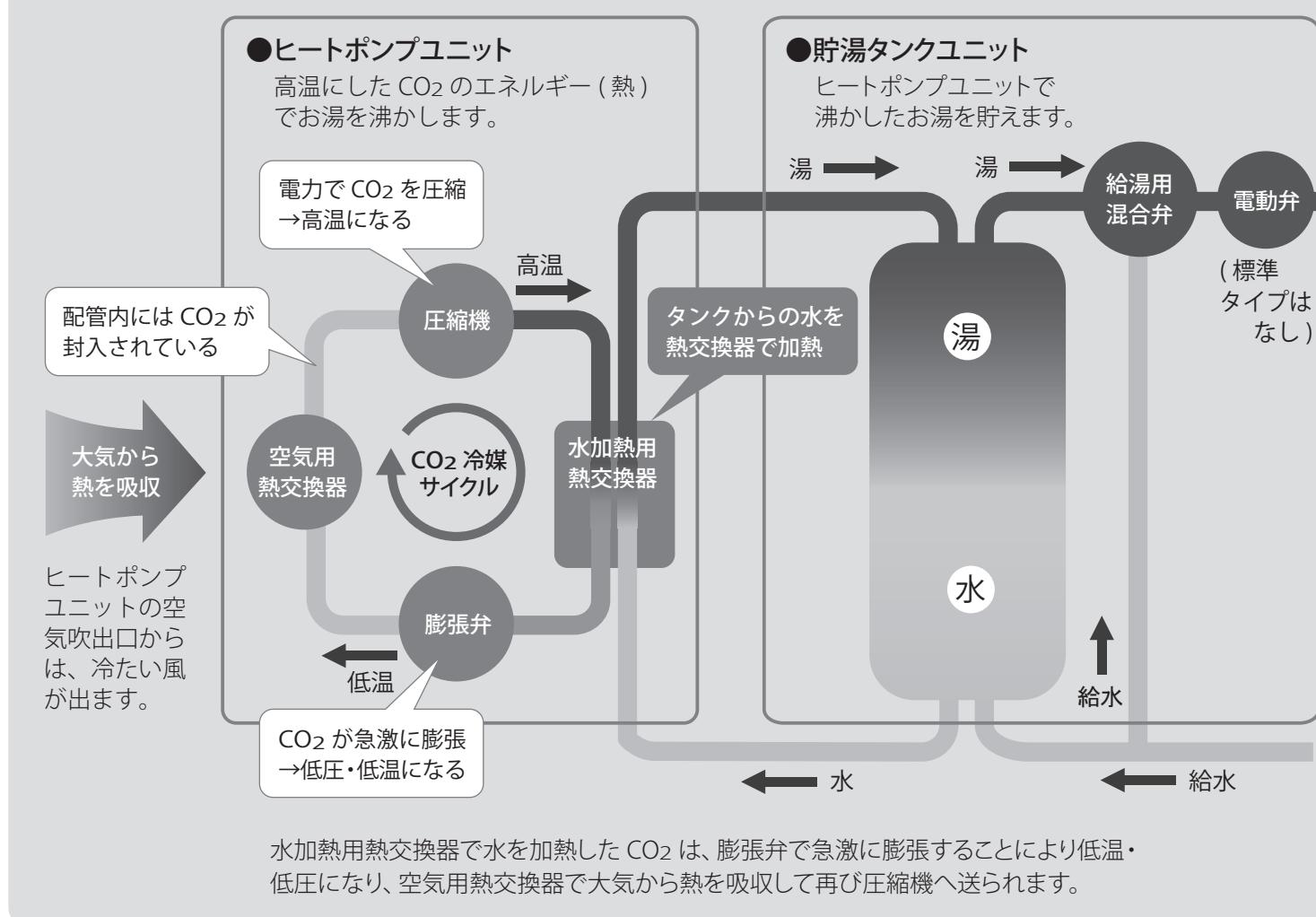
はじめに(特長とお知らせ)

エコキュートってどんなもの

エコキュートは、家庭用消費エネルギーの3割以上を占める給湯エネルギーを、従来の電気温水器に比較して約1/3にする21世紀の給湯システムです。大気中の熱を利用してお湯を沸かす高効率のヒートポンプ方式だから環境に配慮し、とても経済的です。

■お湯を沸かすしくみ

ヒートポンプユニットでは、配管内に自然冷媒CO₂が封入されており、電気で圧縮機を稼動してCO₂を高温・高圧に圧縮し、水加熱用熱交換器で貯湯タンクユニット内から給水した水を加熱(沸き上げ)して貯湯タンクの上部へ戻します。お湯は、ヒートポンプにより最高約90°Cに沸き上げることができます。



■電力料金契約を選んで更に経済的

この給湯機は、時間帯別電灯型・季節別時間帯別電灯型のいずれかで契約されています。
ご使用の前に必ず契約内容を、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

→ P.21

契約内容を確認の上、ご使用ください。
ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

もくじ

ご使用のまえに

●操作早見表	3
●エコキュートの上手な使い方ガイド	4
●安全上のご注意・使用上のご注意	5

各部の名前とはたらき

●リモコン	11
●メニュー内容・残湯量の見かた	13
●ユニット本体(貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット)	15
●配管・配線	16

使いかた

●混合水栓(蛇口)について	17
●はじめてお使いのとき	
・必ず確認しましょう	18
・初期設定をする(現在時刻・現在日付・電力契約・タンク湯切防止詳細)	19
・タンクの設定(湯量・湯切防止)	23
●お湯を使う	
・給湯温度の確認・設定	25
●おふろの湯張りのしかた	
・湯量お知らせの設定(湯張り温度・湯量)	26
・湯量お知らせ運転のしかた(ふろの湯張り)	27
●便利な機能	
・音声ガイドモード・音量を設定する	29

こんなとき

●お湯が不足しそうなとき(沸き増しをする)	30
●使えるお湯の量を知りたいとき(42°C換算)	31
●過去の使用パターンを知りたいとき	31
●数日間お湯を使わないとき	32
●画面が見にくいとき(コントラスト設定)	33
●凍結防止について(外気温が低いとき)	34
●長期間お湯を使用しないとき(タンクの排水のしかた)	35
●非常用水として使用するとき	36
●停電のとき・断水のとき	37

お手入れ・お困りのとき・アフターサービスなど

●お手入れと点検	38
●こんなときは故障ではありません	41
●リモコンに点検表示がでたら	42
●お困りのときは	43
●仕様・保証とアフターサービス・用語集	45

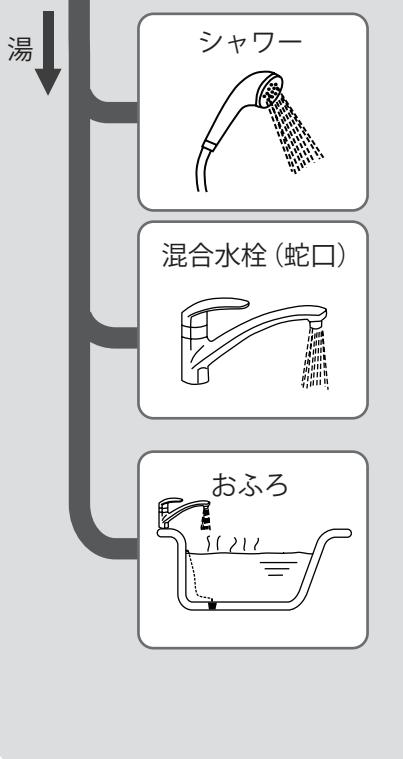
■お湯が出るしくみ

シャワーや混合水栓(蛇口)

タンクのお湯と水道からの水を給湯用混合弁で混ぜることで、リモコンで設定された温度のお湯をつくります。

おふろ

タンクのお湯と水道からの水を給湯用混合弁で混ぜることで、リモコンで設定された温度のお湯をつくり、混合水栓から湯張りします。



操作早見表



エコキュートの上手な使い方ガイド

より省エネで経済的にご使用いただくためのポイントを紹介します。



■上手にお湯を沸かして使う

エコキュートは、過去のお湯の使用量を学習してお湯を沸かしますが、リモコンの設定により余裕分を多めに沸かすことも少なめに沸かすこともできます。ご家庭の使用状況にあわせて、必要な量だけお湯を沸かし、上手に使い切ることが省エネ・省コストのポイントです。

1

- 台所リモコンでお湯を沸かすモードを「おまかせ 低」に設定します。 → P.23

2

- お湯が足りなくなりそうなときには、台所リモコンの「沸き増し」を押して必要な湯量を確保します。 → P.30 (自動でお湯の確保をしたいときは、「湯切防止」を設定します。 → P.24)
 - ・1時間の沸上げで、約40°Cのお湯を約120L(冬季)～240L(夏季)つくることができます(BHP-ZA37FU、BHP-Z37FUの場合)。
 - ・ふろのお湯張りのめやす:約200L/回、シャワーのめやす:約10L/分です。

3

- 「おまかせ 低」で頻繁にお湯が足りなくなった場合は、多くお湯を沸かすモード「おまかせ 高」または、「たっぷり」に設定を変更してください。 → P.23
 - ・水温の変化によりお湯の使用量が変わってきます(水温の低い冬季は、お湯の使用量が多くなります)。季節により、お湯を沸かすモードを変更することで、さらに経済的になります。

4

- 湯量お知らせ(ふろ湯張り)終了後など「湯切防止」が入り、自動でお湯の確保をおこないますが、お湯の量が間に合う場合は、台所リモコンで「湯切防止」を「切」に設定してください。 → P.24

5

- 旅行などで長期不在となるときには、台所リモコンで「タンク休止」を設定し、沸き上げを休止します。 → P.32

■上手に付加機能を使う

エコキュートには多くの付加機能があります。上手に使うことが省エネ・省コストのポイントです。

1

- 深夜時間帯の直前に沸き上げさせない設定ができます。 → P.22

安全上のご注意(必ずお守りください)

※この給湯機は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分



警告

この表示の欄は、「誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「誤った取扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。

据付け時の確認

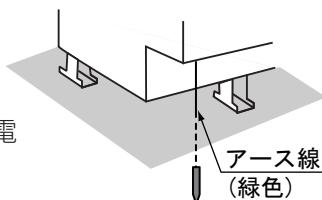


警告



アース工事を確認する

確認



- 故障や漏電のときに感電することがあります。



ヒートポンプユニットは屋内に設置しない

禁止

- 万一冷媒 (CO₂) が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故 (脳機能障害等) に至ることがあります。



注意



機器がアンカーボルトで固定されているか確認する

確認

- 貯湯タンクユニット脚… 3か所
- ヒートポンプユニット脚… 4か所

- 固定されていないと、地震などにより本体が倒れてしまうことがあります。



防水処理・排水処理されていない床面には機器を設置しない

禁止

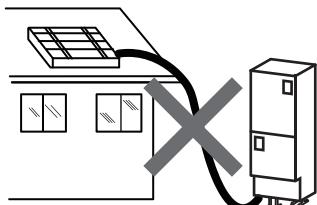
- 処理されていないと、水漏れが起きたときに階下や隣家に大きな損害をおよぼすことがあります。

⚠ 注意

太陽熱温水器のお湯を給水管につながない

禁止

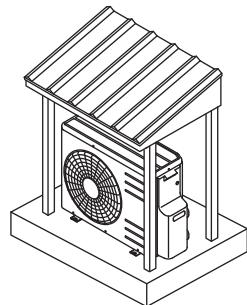
- 太陽熱温水器との接続はできません。故障の原因になります。



積雪地ではヒートポンプユニットに屋根をつける

確認

- ヒートポンプユニットに積雪すると、性能低下や故障の原因になります。



凍結防止対策の確認をする

確認

→ P.34

- 凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

水道水を使用する

確認

- 必ず、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 井戸水、温泉水、純水、イオン交換水は使用しないでください。タンクや配管の腐食、ヒートポンプユニットの水熱交換器がつまるなどの原因になります。

安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

警告

給湯温度の変更は、他の混合水栓の使用状況を確認してから行う

やけど注意

→ P.25

- 他の人がお湯を使っているときに給湯温度の変更を行うと大変危険であり、やけどをすることがあります。

浴そうの湯温を指先などで確かめてから入浴する

やけど注意

- 湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。



給湯時は混合水栓のハンドル以外に手を触れない

やけど注意

- 高温の湯の使用時および使用直後は混合水栓が熱くなっています。やけどにご注意ください。



シャワー使用時は、指先などで湯温を確かめる

やけど注意

- 湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。シャワー給湯には、必ずサーモスタット付混合水栓をご使用ください。



安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

警告

!**漏電遮断器の動作を確認する**

→ P.38

動作確認

※漏電遮断器のテストボタンを押して「ON」(入)から「OFF」(切)になれば正常です。

●故障のまま使用すると、感電することがあります。



!**タンクの排水時は、お湯に手を触れない**

やけど注意

→ P.35

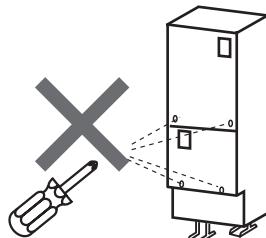
●熱湯が出てやけどをすることがあります。



!**前面カバーを開けない**

分解禁止

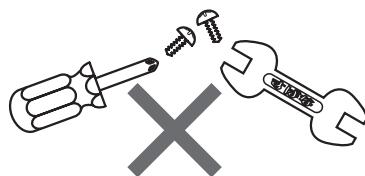
●開けると、感電することがあります。



!**分解・修理・改造を行わない**

分解禁止

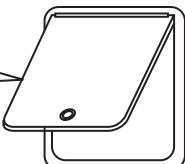
●発火や、異常動作の原因になることがあります。



!**操作カバーは閉じる**

→ P.15

閉じる



●貯湯タンクユニットに操作カバーが2か所あります。開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

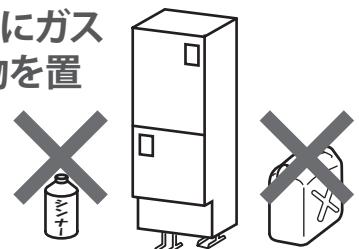
!**異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」(切)にし、販売店に連絡する**

●異常のまま使用すると、故障や感電、火災の原因になります。

!**機器の近くにガス類や引火物を置かない**

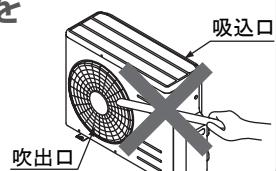
禁止

●発火や火災になることがあります。



!**ヒートポンプユニットの空気吸込口のフィンに触ったり吹出口に手や棒を入れない**

●けがをすることがあります



!**お湯の使いはじめに注意する**

やけど注意

●朝の使いはじめは、空気の混ざったお湯が飛び散ることがあります。

!**ヒートポンプ配管に手を触れない**

やけど注意

●やけどをすることがあります。

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

⚠ 警告



逃し弁点検時は配管に手を触れない

やけど注意

→ P.39

- 手を触れるとやけどすることがあります。



子供を浴室内で遊ばせない

禁止

- 思わぬ事故の原因となります。

⚠ 注意



配管の保温工事を確認する

- 配管が凍結して破損すると、やけどや水漏れすることがあります。
- 保温工事を販売店にご依頼ください。



ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない

- 傷んだ状態で放置するとヒートポンプユニットの落下につながり、けがの原因になることがあります。



おふろのお湯は口にふくまない

禁止

- 不衛生ですから、おふろのお湯は口にふくまないでください。



非常用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用する

やけど注意

- ホースから熱湯が出ます。やけどにご注意ください。ガラス容器などは、熱により割れことがあります。



冬季、電源スイッチを「OFF」(切)にする場合は機器の水抜きをする

- 貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットが満水のまま電源スイッチを「OFF」(切)にすると、配管が凍結し、水漏れや故障の原因になります。



積雪時には除雪をする

- ヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの周囲に積雪すると、性能低下や故障の原因になります。



機器に乗ったり、配管に力を加えたりしない

禁止

- 事故・やけどの原因になります。



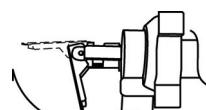
逃し弁の点検をする

→ P.39

点検

※逃し弁のレバーを上げて排水管からお湯が出れば正常です。

- 異常のまま使い続けるとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

⚠ 注意



ヒートポンプユニットの周囲に
通風の妨げになるものを置か
ない
禁止

通風が妨げられると、性能低下や故障の原因にな
ります。



混合水栓は水から開く

やけど注意

まず水栓を開いてから、湯栓を
徐々に開いて適温にしてくだ
さい。湯栓だけ開くと、高温の
湯が出たり、飛び散ったりする
場合があり、非常に危険です。



1か月以上使用しないときは、
漏電遮断器の電源スイッチを

電源確認

「OFF」にし、タンクの排水をする

→ P.35

排水しないと水質が変化することがあります。
排水しないとタンクや配管が凍結し、故障の原因
になることがあります。



断水時は、シャワーや混合水栓
(蛇口)を閉める

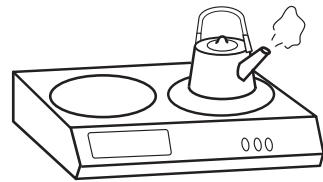
→ P.37

開けっぱなしにしておくと、再度送水されたときに
混合水栓から湯(水)が出ます



そのまま飲用しない

長期間のご使用によってタンク内に水あかが
たまつたり、配管材料の劣化などによって
材質が変わることがあります。やむをえず
飲用する場合は、下記の点に注意し、
必ず沸騰させてから使用してください。



必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合
した水道水を使用してください。
熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)
は、雑用水としてお使いください。
固体物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用
せずに直ちに、販売店へ点検を依頼してください。



機器を満水にしてから電源を入
れる

満水確認



機器に水がない状態で電源を
入れると、故障の原因になります。
はじめてお使いの場合や、長期の
休止後に使用を再開する場合は
販売店にご確認ください。

使用上のご注意

■時間帯別電灯契約専用です

- この機器の性能を最大限に発揮させ、経済的に運転するために、電力会社と時間帯別電灯契約をしてください。
- 契約方法は電力会社または、販売店までご相談ください。



■深夜時間帯のご使用について

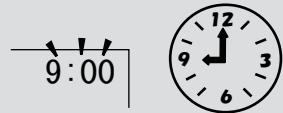
- 給湯機は、深夜時間帯にお湯を沸かすのが基本です。この時間帯にお湯を多く使うと、昼間に沸き増しを行い電気料金が高くなる場合があります。
- 深夜時間帯は、地域や契約内容によって異なります。

→ P.21

■リモコンの時刻を確認する

- 月に1度は台所リモコンの時刻を確認、修正してください。

→ P.19



- 時刻がズれていると、電気料金の高い昼間電力を使用してお湯の沸き上げをすることがあるため、電気料金が割高になることがあります。

■外気温が低いときは・・・

- 配管が凍結する場合がありますので、適切な凍結防止対策を行ってください。

→ P.34

■停電時のご注意

- 停電時は、給湯・湯量お知らせ機能とも使用できません。

→ P.37

■湯張りをするときのお願い

- 湯張りをするときは、浴そうの排水栓を必ず閉めてください。

→ P.27

■温度が変動することがあります

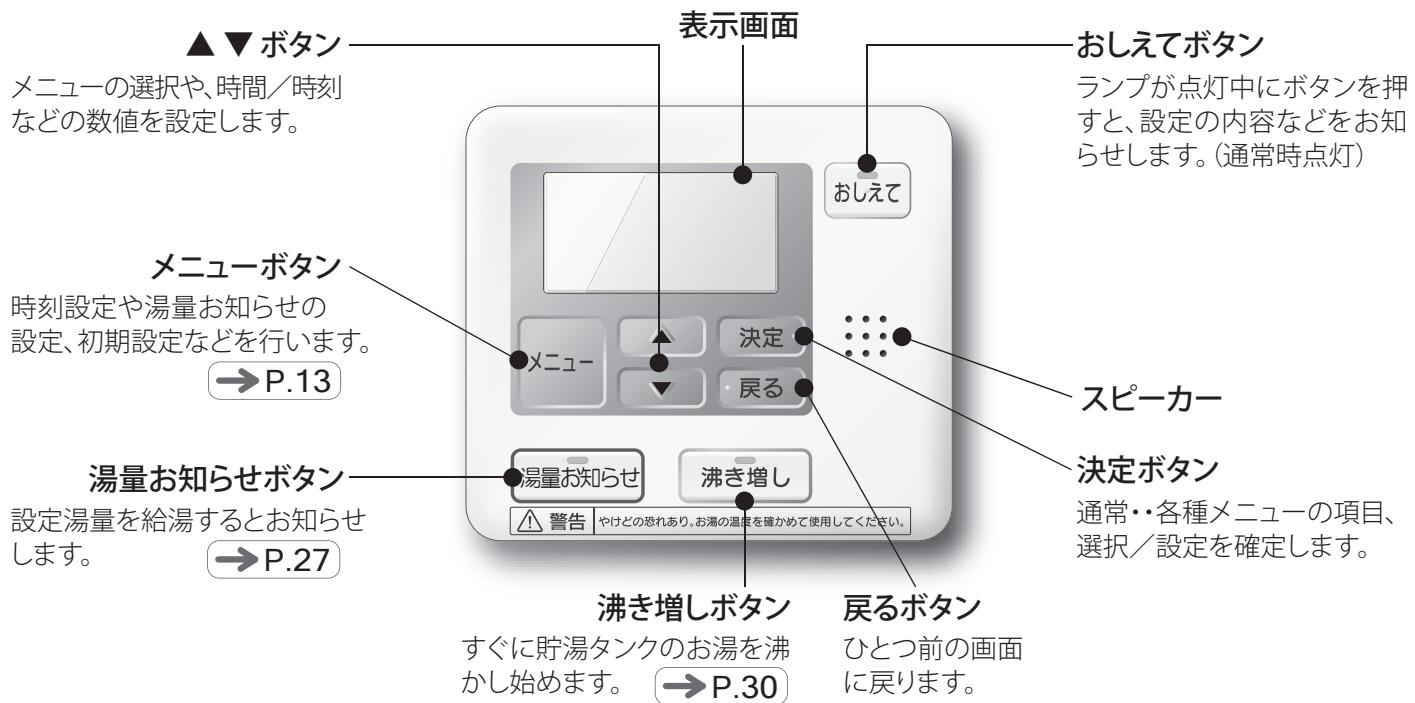
- 水道の圧力が変動したり、給湯量を変更した場合給湯温度が変動することがあります。

■お湯を上手に使う

- 1日に使用できるお湯の量は限りがあります。お湯の使いすぎに注意してください。
- 流しつばなしで使用せず、こまめに止めましょう。
 - ・シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう）
 - ・洗いものをするときも止めながら

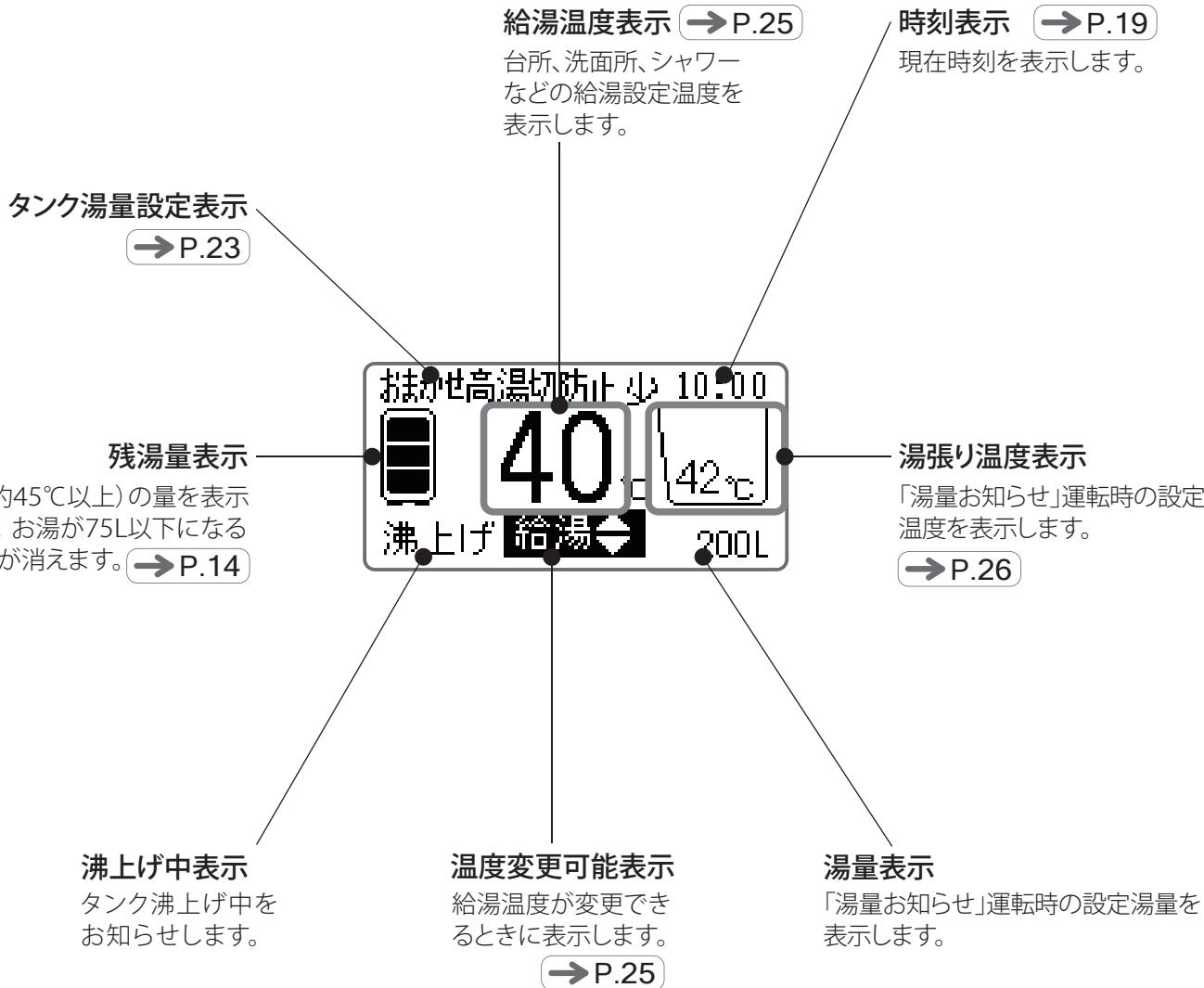
各部の名称と機能・リモコン

台所リモコン



表示画面

●表示は標準画面例です。状況により、表示内容は異なります。



お知らせ

- 台所リモコン約30秒以上ボタン操作をしないと自動的にバックライトが消えて操作を受け付けなくなります。
またいざれかのボタンを押すとバックライトが点灯し、再び操作を受け付ける状態になります。
- 台所リモコンの操作はいざれかのボタンを押してバックライトを点灯させてから行ってください。
- 台所リモコンの大型液晶の表示は設置環境の影響により、まれに誤表示をすることがあります。
誤表示しないようにするために定期的に画面のリフレッシュ(一度全て消して描きなおす)を行っています。
画面が一瞬消えて見えたり、少しづらついて見えたりするのはこのためで、正常な動作であります。

メニュー内容

台所リモコンのメニュー内容

メニュー項目	設定項目	概要	頁
湯量お知らせ 設定	①湯張り温度設定	湯張り温度を設定します。	→ P.26
	②湯張り湯量設定	湯張り湯量を 40L ~ 540L の間で 10L 刻みで設定します。	
タンク設定	①湯量設定	おもに深夜時間帯にタンクで沸き上げるお湯の量を設定します。	→ P.23
	②湯切防止設定	タンクのお湯が少なくなってきたら自動で沸き増しをする・しないを設定します。	→ P.24
その他設定	①音声ガイド	音声ガイドの仕方、有無を選択します。	→ P.29
	②ガイド・ブザー音量	音声ガイド、ブザーの音量を設定します。	
	③タンク休止	タンクの沸き上げを休止する日にちを設定します。	
初期設定	①現在時刻合わせ	現在時刻を合わせます。	→ P.19
	②現在日付合わせ	現在日付を合わせます。	
	③電力契約	契約されている電力の種類を設定します。	
	④湯切防止詳細	「湯切防止」を動作させない時間帯を設定します。	
湯量確認	①残湯量(本日)	今日、あとどれくらいお湯が使えるかの目安を表示します。	→ P.31
	②使用湯量(週間)	1週間のお湯の使用量の変化を表示します。	

残湯量のみかた

残湯量のみかた

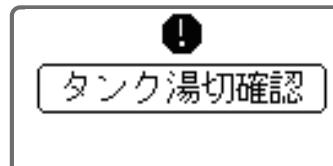
■残湯量表示は…

- 給湯やおふろに使えるおよその湯量を表示します。
- 残湯量表示は、お湯を使わなくても、追焚きや自然放熱などで表示が少なくなる場合があります。



■湯切れ注意

- 残湯量が少なくなると「タンク湯切確認」が、約 10 秒間表示されます。
その後の使用量に応じて「沸き増し」を行ってください。 → P.30
- 「湯量お知らせ」中にこの「タンク湯切確認」が表示された場合、タンク湯切れ防止のため「湯量お知らせ」運転を中止します。蛇口を閉じて「湯量お知らせ」ボタンを押してください。



残湯量が少なくなると約 10 秒間表示

■残湯量表示が消灯したあとも、お湯は残っています

- 残湯量表示が消灯したあとも約 75L のお湯が残っていますので、しばらくは通常の給湯用としてお湯が使えます。

■使えるお湯の量

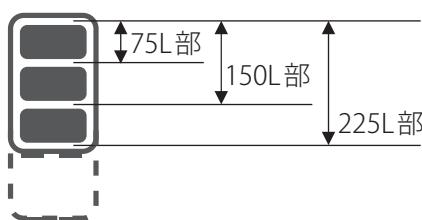
- タンクには常温(水)から最高 90°C のお湯があり、そのお湯と水を混合させてるので、実際にご使用になれるお湯の量と残湯量表示には差があります。平均 42°C に換算した場合の湯量も確認できます。 → P.31

■残湯量のめやす

○=使用できます。 △=湯切れする場合があります。 ×=湯切れします。

表示	タンク内の温度のめやす	残湯量のめやす	使用のめやす		「湯切防止・少量」を設定していると
			給湯、シャワー	湯量お知らせ	
	約 50°C 以上	225L 以上	○	○	タンク内のお湯の温度状況により「沸き増し」を開始して、湯切れを防ぎます。
	75L 部、150L 部は約 50°C 以上 225L 部は約 45°C 以上		○	○	
	約 50°C 以上		○	○	
	75L 部は約 50°C 以上 150L 部は約 45°C 以上		○	△	
	約 50°C 以上		○	△	
	約 45°C 以上		○	△	
	約 45°C 未満		△	×	

●残湯量表示と貯湯タンク内の湯量イメージ



お知らせ

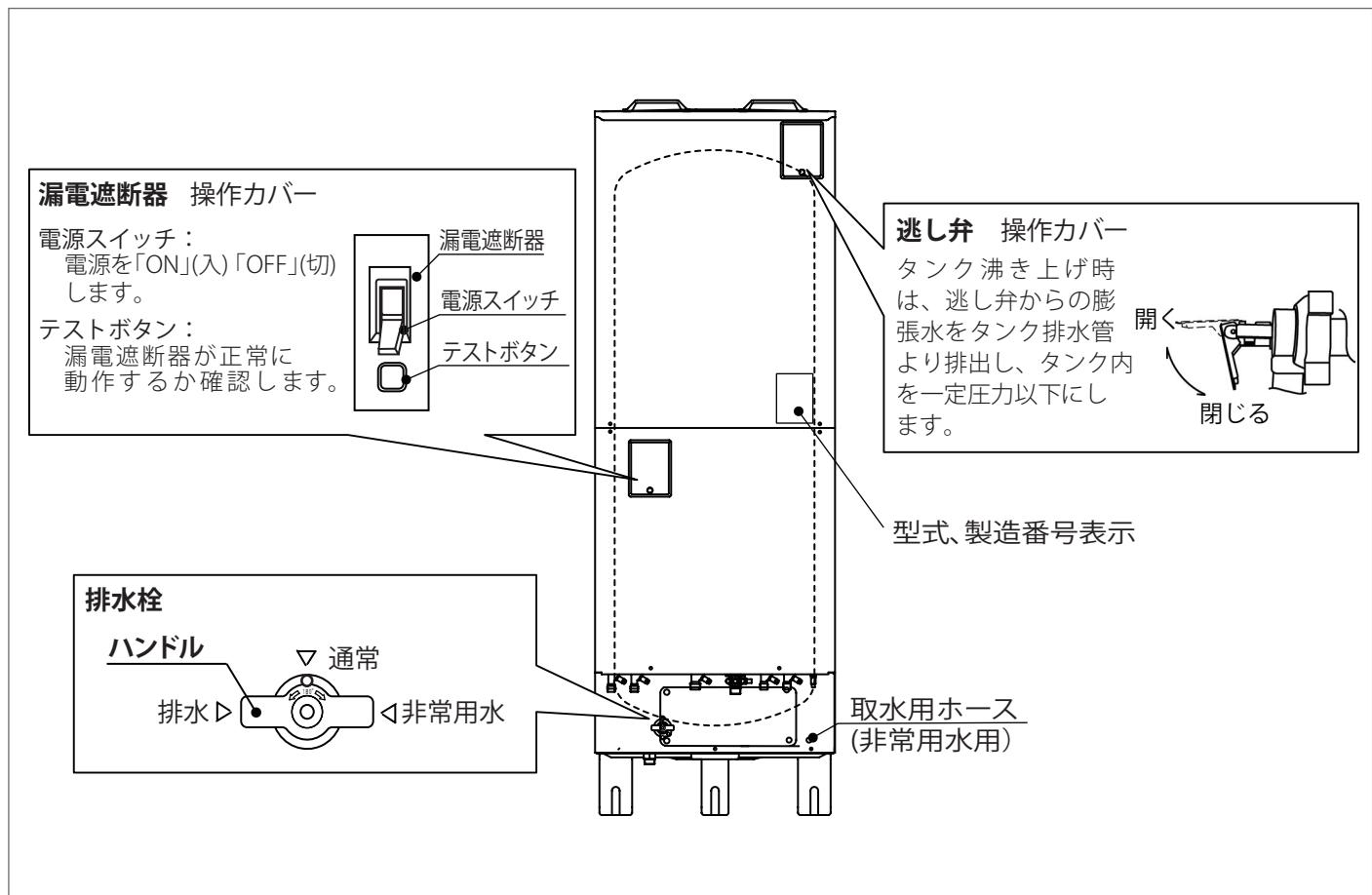
- お湯が 225L 以上ある場合、残湯量表示の点滅消灯はしません。
- 残湯量表示は約 45°C 以上のお湯の量を表示しています。残湯量表示が出ていても給湯温度の設定が高い(たとえば 48°C) 場合は、その設定より低い温度(たとえば 46°C) のお湯が出ることがあります。
- 75L 部の残湯量表示が点滅状態から消灯に変わると、「タンクのお湯が少なくなりました」の音声でお知らせします。

●型式とタンクの容量

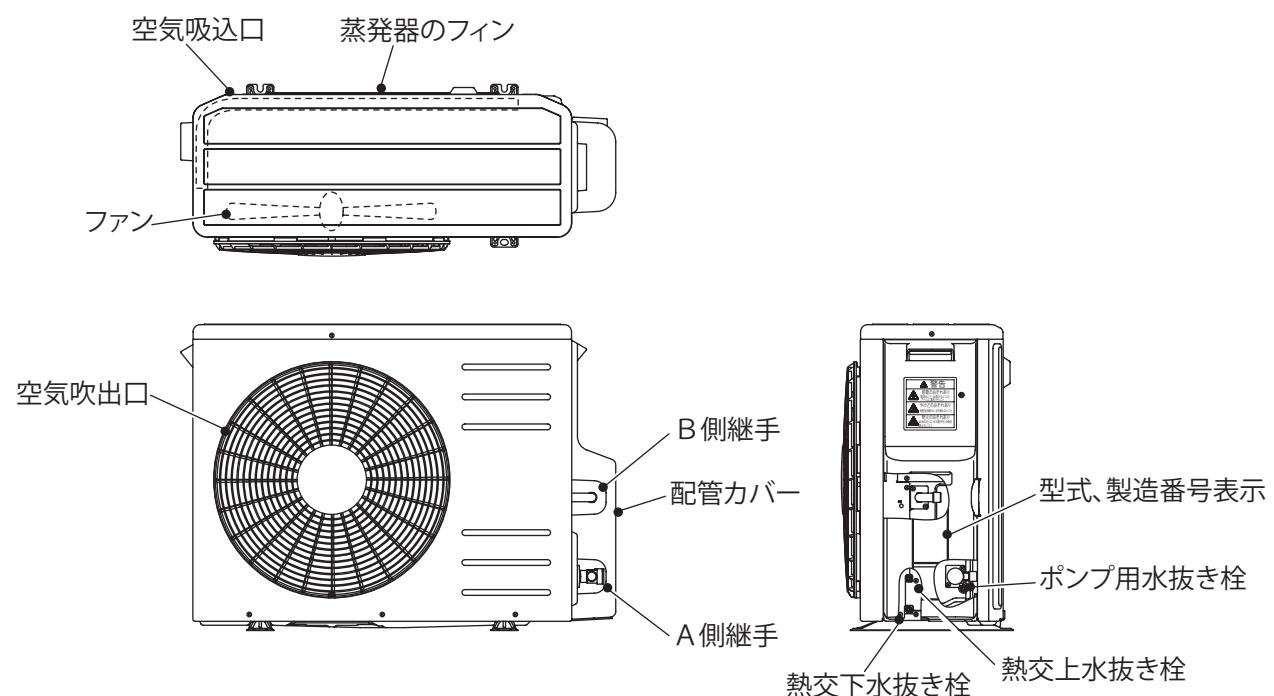
型式	タンク容量
BHP-ZA37FU	370L
BHP-Z37FU	
BHP-ZA46FU	460L
BHP-Z46FU	

ユニット本体

貯湯タンクユニット



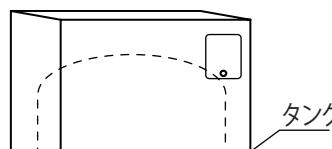
ヒートポンプユニット



配管／配線

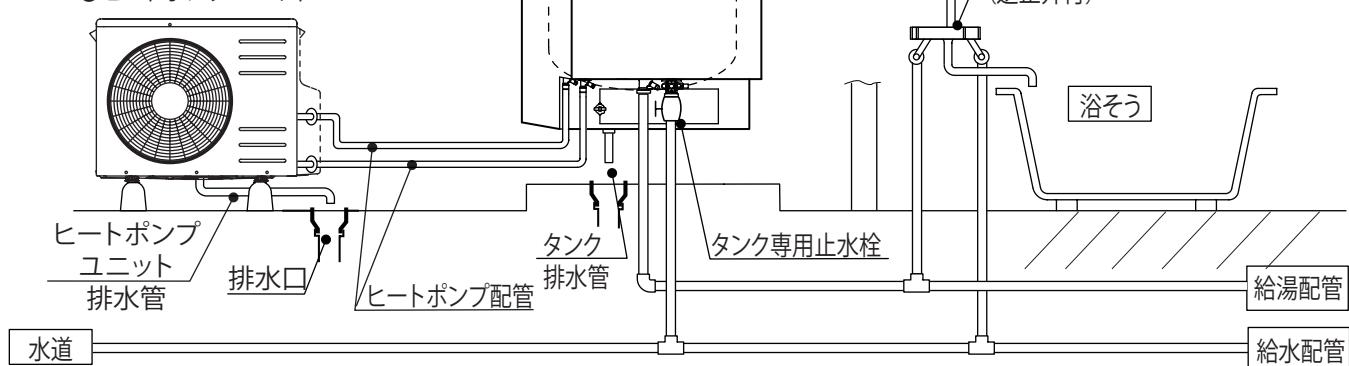
システム全体の配管

●貯湯タンクユニット

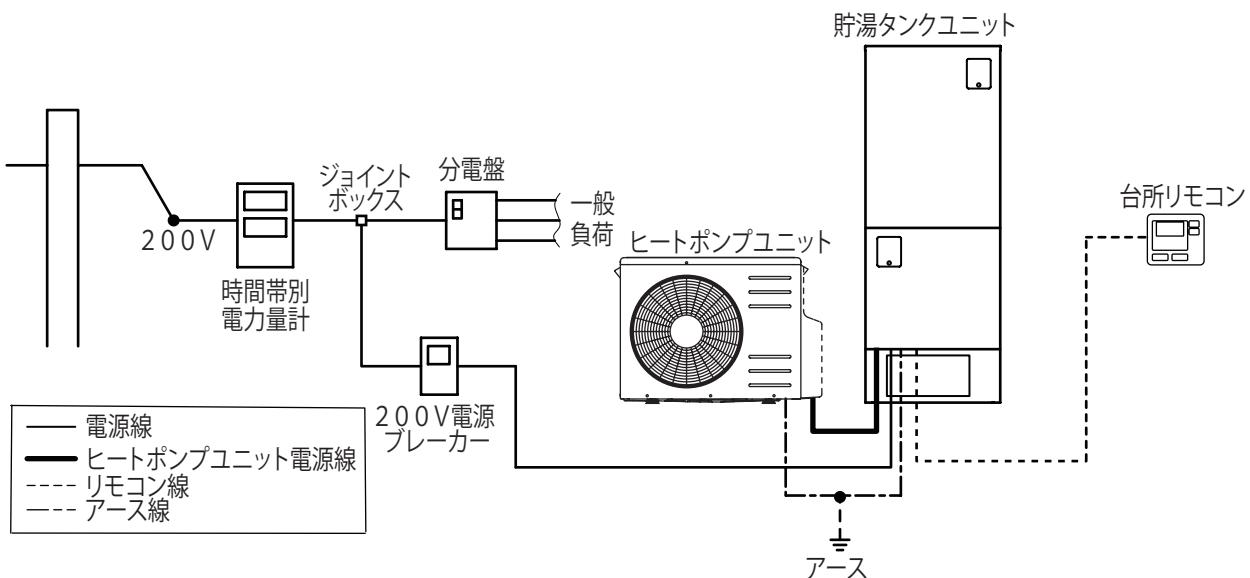


タンク

●ヒートポンプユニット



配線例 (時間帯別電灯契約専用)



混合水栓（蛇口）について

■混合水栓（蛇口）の種類

- エコキュートを安全、便利にご使用いただくためには、各給湯個所に取り付ける混合水栓（蛇口）も大切な役割があります。ご家庭で一般的にお使いになる混合水栓には下表のような種類があります。特徴をよく理解し安全に使用してください。

種類	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタッフ付
外観			
概要	レバーを左右に操作して温度調節を、レバーを上下に操作して湯量の調節を行います。	お湯側、水側それぞれのハンドルを操作してお湯の温度や湯量を調節します。	混合水栓部で温度の設定ができます。シングルレバー、ツーハンドルに比べ温度の変化が少くなります。

- シングルレバーの混合水栓は、出湯、停止、温度や湯量の調節が簡単にできるので、台所やシャンプー機能のない洗面所に向いています。
- サーモスタッフ付混合水栓は、おふろやシャンプー機能付の洗面台で使用されています。サーモスタッフ付混合水栓は、出湯温度が安定しやすく、より安全にお湯をご使用いただけます。シャワーはお湯を直接、からだや頭にかけますので、誤って熱い湯が出ると大変危険です。サーモスタッフ付混合水栓を必ずご使用ください。
- 混合水栓はその構造によって、湯側を全開となるよう操作しても水側から少量の水が流れ出る場合があります。オートストップタイプ(BHP-TAZA371/461)と組み合わせる混合水栓は、仕様をよくご確認ください。

■混合水栓（蛇口）の上手な使い方

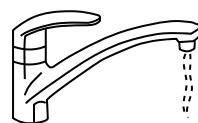
レバー、ハンドルの開閉は水側から ゆっくりと

- 他の場所から給湯温度を変更している場合もあります。混合水栓を開く時は、水側から開き湯温を確かめながらお湯を出します。
- 給湯中に設定温度を変えたり、給湯量（混合水栓の開き具合）を変えたときや、一旦給湯を止めたあと短時間の内に再度使用する場合、設定温度になるまでにしばらく時間がかかります。

適度な流量で使用する

●流量が少ないと

流量が極端に少ないと、温度が不安定になったり水が出たりします。



●流量が多いと

一度に大量にお湯を出したり、シャワーと台所などを同時に使用すると、温度が低くなることがあります。その場合は混合水栓を少し閉めてください。



警告



給湯時は混合水栓のハンドル以外 に手をふれない

やけど注意

- 高温の湯の使用時および使用直後は混合水栓が熱くなっています。やけどにご注意ください。



お知らせ

サーモスタッフ付混合水栓を使用する場合は、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より高くしてください。低いと混合水栓で設定した湯温にならないことがあります。

はじめてお使いのときに(必ず確認しましょう)

1 使用できる状態かを確認します。

- 貯湯タンクユニットの、タンク専用止水栓は「開」になっていますか? [→ P.16](#)
- 200V電源ブレーカーの、電源スイッチは「ON」(入)になっていますか? [→ P.16](#)
- 貯湯タンクユニットの、漏電遮断器のスイッチは「ON」(入)になっていますか? [→ P.15](#)

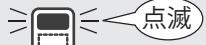
2 台所リモコンの表示画面は点灯していますか?

- 点灯していないときは  ボタンを押してみてください。
- それでも点灯しない場合は、お買い上げの販売店または工事店にご確認ください。
- 表示画面に縦線が出るなど、見にくい場合は、コントラスト設定をしてください。 [→ P.33](#)

3 時刻は合っていますか?

- 合っていない場合は「初期設定」をしてください。 [→ P.19](#)
- 「初期設定」ができたら 4 に進みます。

4 残湯量の表示を確認します。

- 残湯量が表示の  より多い場合は、お湯を使うことができます。※残湯量の見かた。 [→ P.14](#)
- 残湯量が表示の  ような場合は、次の確認をしてください。

A 「沸上げ」が表示されている場合

-  が表示されるまでお待ちください。(約60分~120分)

B 「沸上げ」が表示されていない場合

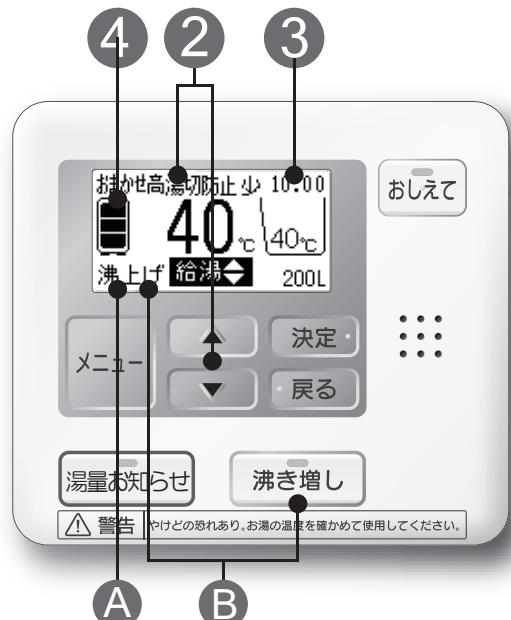
- 「沸き増し」ボタンが点灯していないければ  ボタンを押す。

 が表示されたらお湯を使うことができます。

お願い

- タンク専用止水栓が「閉」になっている場合や、電源が「OFF」(切)になっている場合は、お買い上げの販売店または工事店に「電源を「ON」(入)にすれば使用できるか。」「タンク専用止水栓を「開」にすれば使用できるか。」をお問い合わせいただき、使用できることを確認してください。
- 使用できない場合は、お買い上げの販売店または工事店に作業をご依頼ください。※作業は有償になることがあります。

台所リモコン



ご注意 時刻表示について

時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。確認をお願いします。

表示画面について

リモコンは、約30秒以上ボタン操作をしないと自動的にバックライトが消えます。再度ボタンを押すことで、バックライトが再点灯します。

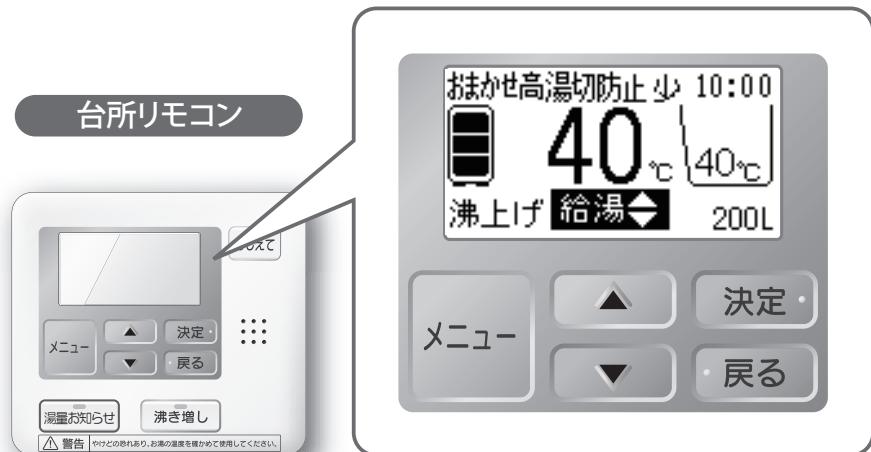
音声ガイドについて

音声ガイドは、「しんせつ」「標準」「切」の3つのモードがあり、モードにより音声ガイドの内容が異なります。本説明書は「しんせつ」モードで説明しています。 [→ P.29](#)

初期設定をする・現在時刻／現在日付の設定

■現在時刻、日付と電力契約の種類などを設定します。

- 台所リモコンで操作します。
- 現在時刻が合っていないと、電気料金が割高になることがあります。月に一度は時刻の確認をしてください。
- 電力契約の種類によって、深夜時間帯や料金のお得な時間帯が異なります。電気料金制度を上手に利用するため、必ずご契約されている電力契約の番号を設定してください。 ➡ P.21
(契約内容は、販売店または工事店にお問い合わせください。)

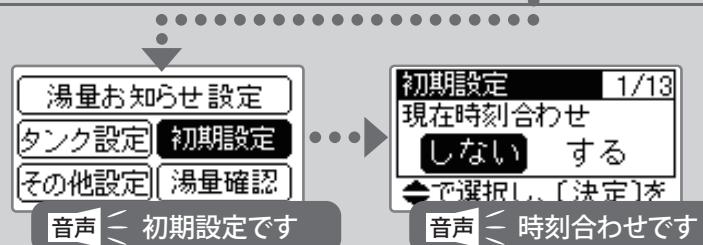


※下記は、現在時刻 10 時 30 分、現在日付 2008 年 11 月 1 日、電力契約 02、タンク湯切防止詳細 02 に設定した例です。

1 メニューを押し、メニュー画面を表示させる
●表示部がメニュー画面に変ります。



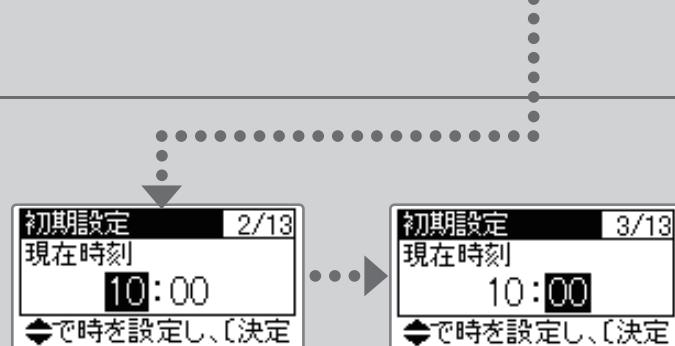
2 ▲を押し、「初期設定」を選択する
決定を押し、決定する
●「現在時刻合わせ画面」が表示されます。



3 ▲を押し、「する」を選択する
※「しない」を選択→決定すると「現在日付設定」にすすみます。
決定を押し、決定する
●設定されている現在時刻が表示されます。



4 ▲を押し、「時」を合わせる
決定を押し、決定する
●「分」が反転表示されます。
※時刻は、24時間表示です。昼の12時は、12:00、夜の12時は、0:00と表示します。
※時刻は、気温の変化や停電などにより若干変化します。時刻がずれている場合は、修正してください。



「分」合わせにすすむ

5

▲を押し、
▼「分」を合わせる

決定 □を押し、決定する

●「現在時刻確認」画面が表示されます。

6 時刻を確認し、決定 □を押す。

●「現在日付合わせ」画面が表示されます。

●再度、時刻合わせを行う場合は 戻る □を押してください。



7

▲を押し、
▼「する」を合わせる

※「しない」を選択→決定すると「電力契約設定」にすすみます。

決定 □を押し、決定する

●設定されている現在日付が表示されます。

8

▲を押し、
▼「年」を合わせる

決定 □を押し、決定する

●「月」が反転表示されます。



9

▲を押し、
▼「月」を合わせる

決定 □を押し、決定する

●「日」が反転表示されます。



10

▲を押し、
▼「日」を合わせる

決定 □を押し、決定する

●「現在日付確認画面」が表示されます。

11 年月日を確認し、決定 □を押す。

●「電力契約変更」画面が表示されます。

●再度、日付合わせを行う場合は 戻る □を押してください。



電力契約にすすむ

電力契約の設定

●電力契約が設定済みであるか、販売店または工事会社にご確認ください。設定がされている場合は、変更する必要はありません。

12

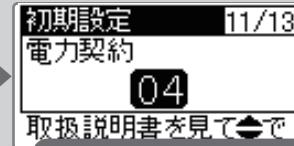
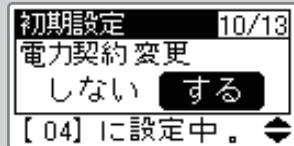
※設定済みの場合は、変更しないでください。

▲を押し、
▼「する」を選択する

※「しない」を選択→決定すると「タンク湯切防止詳細」設定にすすみます。

決定 ▲を押し、決定する

●「電力契約の番号」が表示されます。



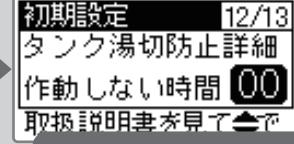
13

▲を押し、
▼電力契約番号を選択する

※下の図表を参照して番号を選択ください。

決定 ▲を押し、決定する

●決定を押すと「タンク湯切防止詳細」画面が表示されます。



■電力契約の番号と時間帯概要 (2008年10月現在)

※グラフの上の数字は時間を表しています。契約している電力制度の内容は、各電力会社にお問合せください。Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンの用語は、説明のために付加したもので、各電力会社の定める用語ではありません。

●契約名称と設定する契約番号

電力会社	契約名称	契約番号
北海道電力	ドリーム8、ドリーム8エコ(深夜時間帯22時~6時)	07
	ドリーム8、ドリーム8エコ(深夜時間帯23時~7時)	08
	ドリーム8、ドリーム8エコ(深夜時間帯24時~8時)	09
	eタイム3	06
東北電力	やりくりナイト8	00
	やりくりナイト10、やりくりナイトS	06
東京電力	おトクなナイト8	00
	電化上手	02
中部電力	おトクなナイト10	06
	タイムプラン	00
北陸電力	Eライフプラン	04
	エルフナイト8	00
関西電力	エルフナイト10プラス	05
	エルフナイト10	06
中国電力	時間帯別電灯	00
	はぴeタイム	02
四国電力	エコノミーナイト	01
	ファミリータイム	03
九州電力	電化Deナイト、得トクナイト	00
沖縄電力	時間帯別電灯	00
	電化deナイト	05
	よかナイト10	06
沖縄電力	時間帯別電灯	00
	Eeらいふ	02

●契約番号と時間帯名称

契約番号	時間帯名称			
00	0 7	深夜時間帯 Aゾーン	昼間時間帯 Bゾーン	23 24 深夜
	0 8	深夜時間帯 Aゾーン	昼間時間帯 Bゾーン	23 24 深夜
02	0 7 10	深夜時間帯 Aゾーン	朝晩・ リビング Bゾーン	昼間時間帯 Cゾーン
	17	朝晩・ リビング Bゾーン	23 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン
03	0 8 10	深夜時間帯 Aゾーン	朝晩・ リビング Bゾーン	昼間時間帯 Cゾーン
	17	朝晩・ リビング Bゾーン	23 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン
04	0 7 9	深夜時間帯 Aゾーン	朝晩・ リビング Bゾーン	昼間時間帯 Cゾーン
	17	朝晩・ リビング Bゾーン	23 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン
05	0 8 10	深夜時間帯 Aゾーン	朝晩・ リビング Bゾーン	昼間時間帯 Cゾーン
	17	朝晩・ リビング Bゾーン	22 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン
06	0 8	深夜時間帯 Aゾーン	昼間時間帯 Bゾーン	22 24 深夜
	22 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン	22 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン
07	0 6	深夜時間帯 Aゾーン	昼間時間帯 Bゾーン	16 18 ビーグ 22 24 深夜
	16 18 ビーグ 22 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン	16 18 ビーグ 22 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン
08	0 7	深夜時間帯 Aゾーン	昼間時間帯 Bゾーン	16 18 ビーグ 23 24 深夜
	16 18 ビーグ 23 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン	16 18 ビーグ 23 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン
09	0 8	深夜時間帯 Aゾーン	ビーグ 昼間時間帯 Bゾーン	16 18 24 深夜
	16 18 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン	16 18 24 深夜	朝晩・ リビング Bゾーン

タンク湯切防止詳細の設定

●「タンク湯切防止詳細」設定は、電力を節約するためのものです。湯切れが発生しても、深夜電力時間直前の場合は、電気料金を節約するために、タンクの沸き上げをおこなわないようにする機能です。深夜時間帯前 1 ~ 3 時間が設定できます。

14

- 「タンク湯切防止詳細」画面が表示され、設定されている時間が表示されます。
- 下の表で設定する時間を確認し、選択してください。

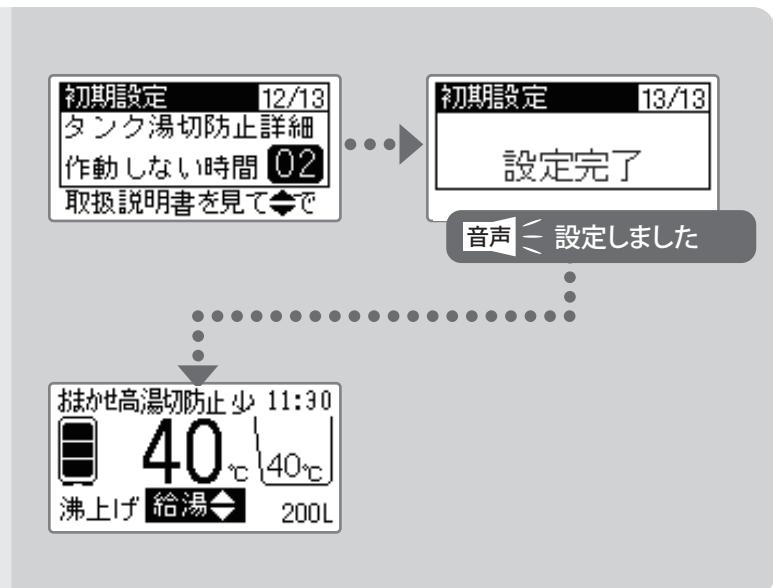
▲ を押し、
▼ 作動しない時間を選択する

決定 を押し、決定する

- 「設定完了」画面が表示されます。

- 約 10 秒後に標準画面に戻ります。

- 決定 を押すと、10 秒待たずに標準画面に戻ります。



お知らせ

- 作動しない時間を設定すると、その時間帯はタンクの沸き上げをおこないません。
- 「湯切防止設定」が、「切」に設定されている場合は「00」時間を設定しても、湯切防止機能は働きません。

→ P.24

■タンク湯切防止詳細の設定時間のめやす

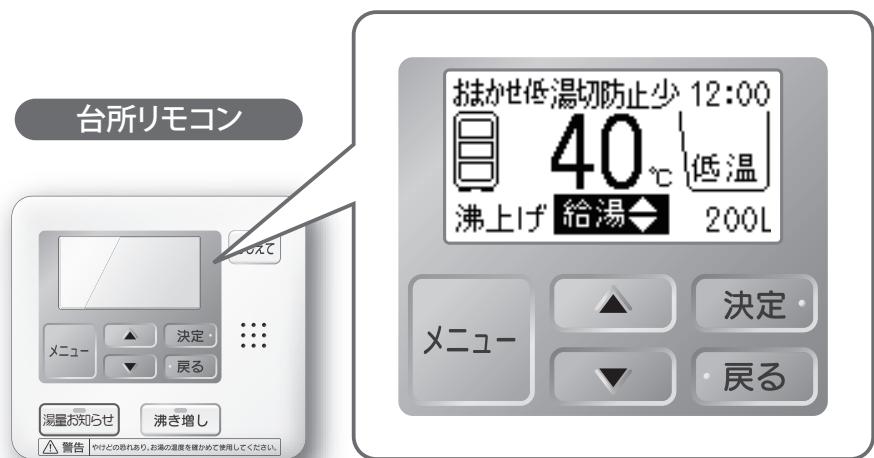
- お湯を使う最終の時間帯によって設定してください。

※深夜時間帯が 23 時から始まる電力契約を例にしためやすです。22 時から始まる電力契約の場合は各時間を 1 時間早めてください。

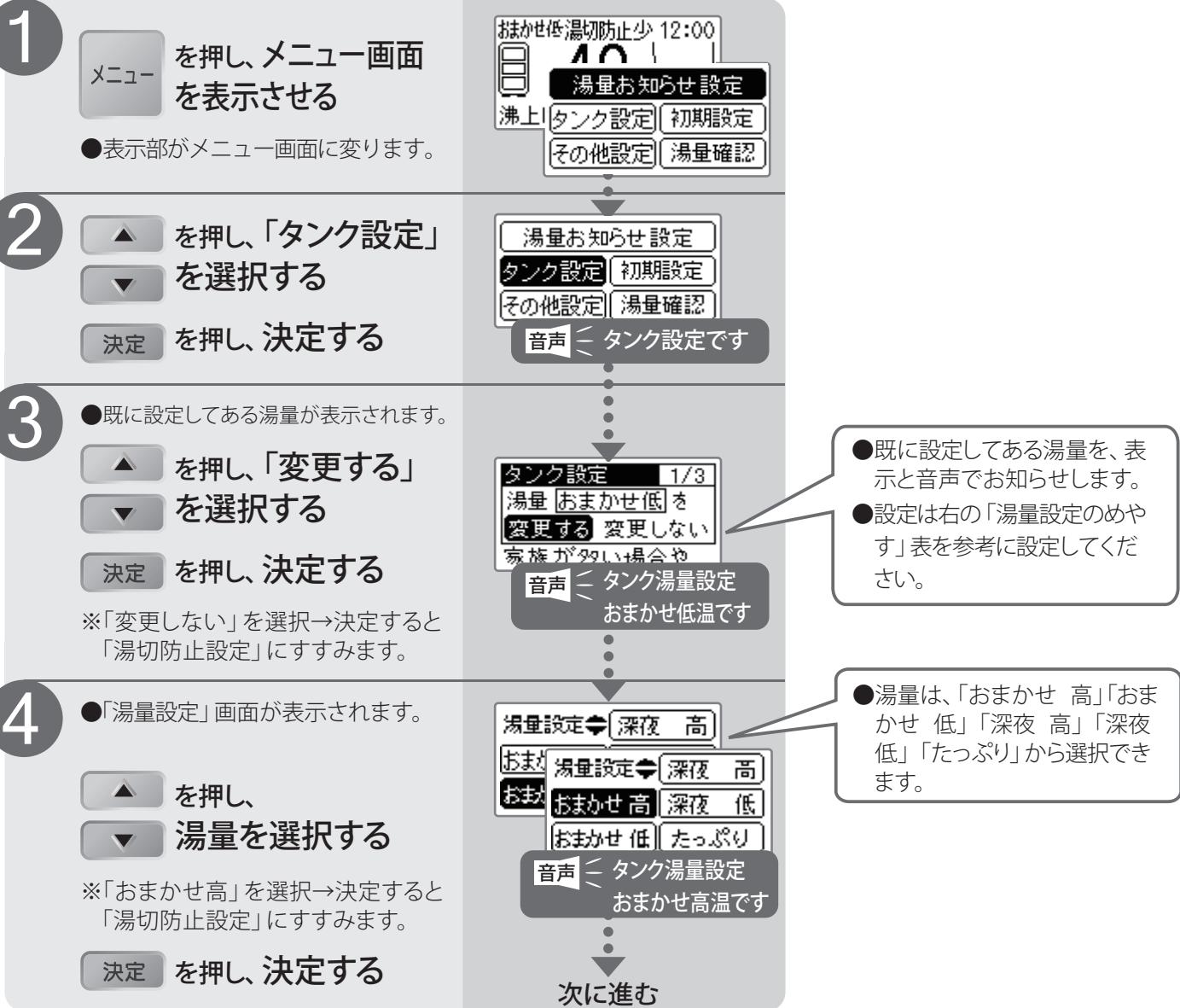
表示	タンク沸き上げの動作	設定のめやす
作動しない時間 00	深夜時間帯直前でも作動します。	23 時までお湯を使う場合
作動しない時間 01	深夜時間帯 1 時間前から作動しません	22 時以降はお湯を使わない場合
作動しない時間 02	深夜時間帯 2 時間前から作動しません	21 時以降はお湯を使わない場合
作動しない時間 03	深夜時間帯 3 時間前から作動しません	20 時以降はお湯を使わない場合

タンクの設定・湯量／湯切防止

- お買い上げ時は、「おまかせ 低」「湯切防止 少」に設定されています。
- タンク設定には、「湯量」「湯切防止」があります。お使いになる前に必ず設定してください。
- 台所リモコンで操作します。
- 使えるお湯の量は、タンクに貯めるお湯の量と沸き上げ温度で決まります。タンクのお湯の量が同じでも、沸き上げ温度が高いほど使えるお湯の量が多くなります。
- 沸き上げた湯量では足らなくなりそうな場合に、自動的に沸き上げる「湯切防止」があります。



※下記は、湯量設定「おまかせ、高」、湯切防止設定「少量」に設定した例です。



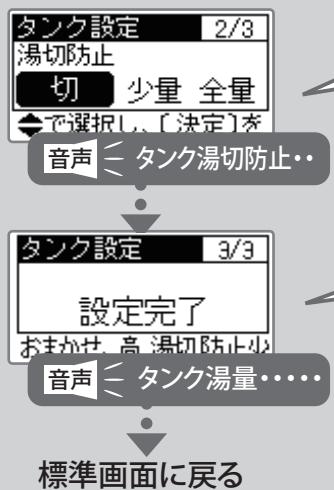
5

- 「湯切防止設定」画面が表示されます。

▲ **押し、希望の設定を選択する**

決定 を押し、決定する

- 「設定完了」画面が表示されます。
- 約10秒後に標準画面に戻ります。
- **決定** を押すと、10秒待たずに標準画面に戻ります。



●設定は、「切」「少量」「全量」から選択できます。
通常は「少量」を選択します。

●設定が終わると、設定内容を表示と音声でお知らせします。

■湯量設定のめやす

湯量 (沸き上げ温度の目安)	ご使用のめやす	運転状態など
おまかせ 高 (約 75 ~ 90°C)	お湯の使用量に応じて沸かす湯量を自動的にコントロールします。湯切れしにくいモードです。 ●お湯の使用量がわからない場合 ●家族が多い場合やお湯を多く使用する場合	過去1週間の使用量に応じた湯量を主に深夜時間帯で沸き上げます。 お湯の使用量が多い場合は、電力契約のBゾーン時間帯(→P.21)にも沸き上げます。
おまかせ 低 (約 65 ~ 90°C)	余分なお湯を沸き上げず省エネ運転をおこないます。お湯を満タンまで沸かさないことがあります。 ●お湯の使用量が少ない場合 ※頻繁に湯が足りなくなる場合は、「おまかせ 高」に変更してください。	過去1週間の使用量に応じた湯量を深夜時間帯のみで沸き上げます。 お湯の使用量が多い場合でも、昼間は沸き上げをおこないません。 (湯切防止設定時は、昼間に沸き上げる場合があります。)
深夜 高 (約 90°C)	深夜時間帯のみでお湯を沸かします。 ●夜だけお湯を沸かしたい場合	昼間は沸き上げをおこないません。 (湯切防止設定時は、昼間に沸き上げる場合があります。)
深夜 低 (上部約 75°C 下部約 65°C)	※お湯が足りないときは、「沸き増し」を押してお湯の量を増やしてください。→P.30	
たっぷり (約 90°C)	お湯をもっと多く沸かすモードです。 ●来客時や冬季などお湯をたくさん使用する場合	タンク内のお湯を約75L使用すると、電力契約Bゾーン時間帯(→P.21)にも沸き上げをおこない、タンクを満タンにします。 1週間で「おまかせ 高」に切り替わります。

お知らせ

- 沸き上げ温度はヒートポンプユニットで沸き上げるお湯の温度です。ヒートポンプユニットからタンクまでの配管の長さ、配管の保温状態、外気温度などによりタンクにたまるお湯の温度は沸き上げ温度より低くなります。
- 「たっぷり」「おまかせ 高」は、Bゾーン時間帯に沸き上げることがあるので、電気料金が割高になる場合があります。

■湯切防止とは

設定しておくと、毎日、電力契約のいずれの時間帯でも、タンク内のお湯が減るたびに自動で沸き増しをおこない、湯切れするのを防ぎます。昼間にも沸き上げするため、電気料金が割高になる場合があります。
「湯切防止」で沸き増すお湯の量には、「少量」と「全量」があります。

通常は	お湯を多く使用したい日は

お湯を使う・給湯温度の確認・設定

1 給湯温度(お湯の温度)の表示を確認する

●適温であれば 3 に進みます。

2 ●台所、洗面所、シャワーなどで使用するお湯の温度を設定します。

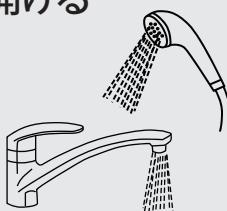
 を押し、給湯温度を設定する

- 温度を高くしたいときは  を押します。
- 温度を低くしたいときは  を押します。
- 温度表示は、下に示したように設定できます。

低温 35°C … 48°C 60°C 高温
(水温) (1°C刻み)

3 混合水栓(蛇口)を開ける

- 混合水栓(蛇口)を開けるとお湯が出ます。
- シャワー使用時には、指先などで湯温を確かめてからご使用ください。



⚠ 注意

給湯温度を「高温」に設定するときは、やけど防止のため特に下記の点にご注意ください

- 混合水栓(蛇口)は、やけど防止のため、必ずサーモスタッフ付混合水栓(現地準備品)を使用してください。
- シャワー入浴時や入浴時は、高温の湯が出るおそれがあるため、湯温を指先などで確かめてください。
- 小さいお子様や高齢者などが使用されるご家庭では、危険ですので「高温」設定にはしないでください。
- 「高温」設定でお湯を使用したあと、給湯温度を下げてあらためて使用する場合、最初は配管内に残った高温のお湯が出てやけどする恐れがありますのでご注意ください。(例えば、「高温」設定で浴そうにさし湯をしたあと、設定温度を下げてシャワーなど使用する場合、配管内に残った高温のお湯がますのでご注意ください。)

台所リモコン



60°C、高温に設定した場合

- やけどに注意していただくため、下のような表示と音声でお知らせします。



音声 給湯温度高温です。熱いお湯が出ます。
ご注意ください。

お知らせ

- 残湯量表示が  のように消えている場合は、設定した温度のお湯が出ないことがあります。
- 「高温」{タンク内湯温に近い高温水(60°C以上)}に設定する場合は、貯湯タンクユニットの設定変更が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 水道の圧力が変動したり、2ヶ所以上で給湯を使用すると、湯温や湯量が変動することがあります。
- 給湯温度を60°C、高温に設定した場合、給湯中に「給湯温度高温です。ご注意ください」を音声でお知らせすることができます。
- 始めのうちは、配管に残った水が出るため、お湯が出るまで少々時間がかかる場合があります。
- 給湯温度を設定する場合、35°C～48°Cの範囲では▲、▼ボタンを押し続けても設定温度は変更しますが、60°C、高温、低温に変更する場合は、▲、▼ボタンを再度押してください。

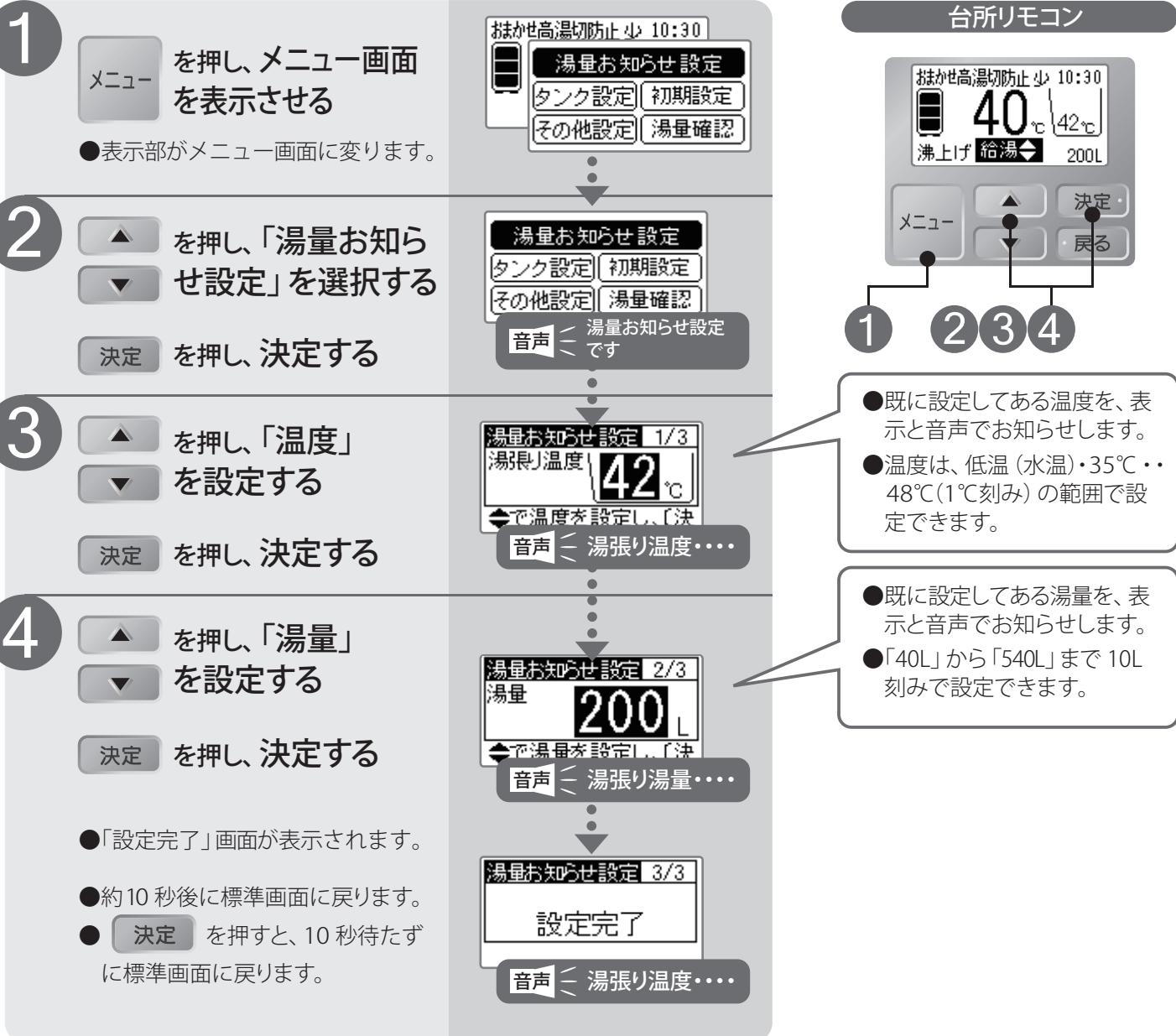
湯量お知らせの設定・温度／湯量

■「湯量お知らせ」の、「湯張り温度」と「湯量」を設定します。

●設定した温度、湯量で湯張りをします。

●台所リモコンで設定します。

温度 42°C、湯量 200L に設定した例です。



ご注意

●設定した湯張り温度は、配管の長さ・保温状態や浴そうの放熱により若干変動します。

また、おふろの湯張りなど大量に給湯する場合は、浴そうの放熱などにより設定温度より低くなります。湯張り後の温度が低い場合は、次回から湯張り温度を高くしてください。

●設定した湯量は、エコキュート出口での湯量です。湯量お知らせ運転中に各混合水栓(蛇口)で使用した湯量の合計が設定量に達すると給湯完了のお知らせをします。湯張り以外に他でお湯を使用すると浴そうへの湯量が少なくなります。また、浴そうに残り湯があるまま湯張りをすると、湯量お知らせの前に浴そうにお湯があふれることができます。

湯量お知らせのしかた(ふろの湯張り)

●「湯量お知らせ」ボタンを押して混合水栓(蛇口)を開くと、あらかじめ設定した温度で給湯を開始します。設定した湯量を給湯すると音声と文字で給湯完了をお知らせします。



おふろの準備

浴そうの排水栓を閉じる。

湯張りの準備

湯量お知らせを押す。

湯張り開始

混合水栓(蛇口)を開く。

- 混合水栓(蛇口)を開くと給湯を開始します。
- リモコン表示部が通常画面に戻り設定湯量の残りを表示します。

湯張り終了

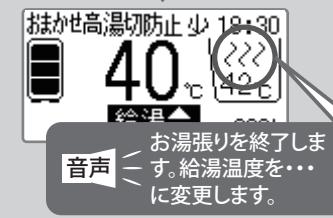
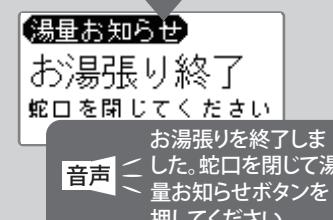
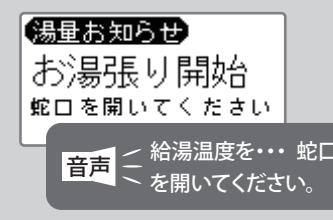
- 各混合水栓(蛇口)で使用したお湯の合計が設定湯量になると、文字と音声でお知らせします。

混合水栓(蛇口)を閉じる。

- すべての混合水栓(蛇口)を閉めてください。サーモスタット式の混合水栓(蛇口)の場合は、設定温度を元に戻してください。

湯量お知らせを押す。

- 標準画面に戻ります。



ご注意

湯張り温度について

- サーモスタット式の混合水栓(蛇口)をご使用の場合は、混合水栓(蛇口)の設定温度を湯張り温度より高めに設定してください。湯張り温度より低いと水が混じるので給湯量が設定湯量より多くなります。

ご注意

湯量お知らせ終了について

- BHP-ZA37FU、BHP-ZA46FU(オートストップタイプ)は、設定湯量を給湯するとすべての混合水栓(蛇口)での給湯を停止します。すべての混合水栓(蛇口)を閉じて「湯量お知らせ」ボタンを押すと給湯温度で給湯できるようになります。混合水栓(蛇口)の構造によっては、自動停止後混合水栓(蛇口)を閉めるまでの間に少量の水が出る場合があります。
- BHP-Z37FU、BHP-Z46FU(標準タイプ)では、給湯は自動で停止しません。混合水栓(蛇口)を閉めて「湯量お知らせ」ボタンを押すと給湯温度に戻ります。

- 「」マークは湯張りが終了したことを表し、湯量お知らせ終了から2時間点灯します。

⚠ 注意

やけどにご注意ください

お知らせ 湯量お知らせ中の給湯温度について

- 湯量お知らせ運転を開始すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が「湯量お知らせ」で設定した湯張り温度に変わります。湯張り温度を高めに設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて運転を開始してください。



- 湯量お知らせ運転中は、温度の変更はできません。

ご注意 湯量お知らせ終了後の給湯温度について

- 湯量お知らせ運転を終了すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が給湯温度に変わります。給湯温度を高く（例えば60°C）設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて湯量お知らせ運転を終了してください。



- 湯量お知らせ運転中は、温度の変更はできません。

途中でとめたいとき

混合水栓(蛇口)を閉じる。

湯量お知らせ を押す。

- すべての混合水栓（蛇口）を閉じて「湯量お知らせ」ボタンを押します。ランプが消灯し湯量お知らせ運転が停止します。

湯量お知らせ
湯量お知らせ中止
給湯温度を変更します

音声 お湯張りを中止します。給湯温度を…に変更します。

湯量お知らせ
湯量お知らせ中止
蛇口を閉じて湯量お知らせ

音声 タンクのお湯が… 蛇口を閉じて湯量お知らせボタンを…

タンクの残湯量が少ないとき

- BHP-Z37FU、BHP-Z46FU（標準タイプ）では、タンク残り湯が少なくなると文字と音声でお知らせします。

混合水栓(蛇口)を閉じる。

湯量お知らせ を押す。

- すべての混合水栓（蛇口）を閉じて「湯量お知らせ」ボタンを押します。ランプが消灯し湯量お知らせ運転が停止します。

お知らせ

- BHP-ZA37FU、BHP-ZA46FU（オートストップタイプ）ではタンクのお湯をすべて使いきるまで運転を続けます。「湯量お知らせ」の途中でタンクのお湯がなくなると自動で給湯を停止して「湯量お知らせ中止」をお知らせします。

- 混合水栓（蛇口）を閉じ、**湯量お知らせ** を押すまでの間、以下の音声を出します。

音声 蛇口を閉じて湯量お知らせボタンを押してください。

オートストップタイプ
(1分ごと)
標準タイプ
(20秒ごと)

ご注意 BHP-ZA37FU、BHP-ZA46FUをご使用の場合

- BHP-ZA37FU、BHP-ZA46FU（オートストップタイプ）では、湯量お知らせ運転を終了させるために、「湯量お知らせ」ボタンを押すと、しばらくの間、右図を表示して、すべての混合水栓（蛇口）が閉まっていることを確認していることをお知らせします。通常画面に戻るまですべての混合水栓（蛇口）は閉じておいてください。

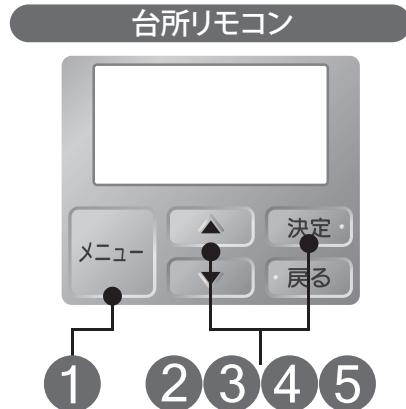
湯量お知らせ
湯量お知らせ終了を確認しています。

お知らせ

- 「湯量お知らせ」ボタンを押さずに混合水栓を開けても湯張りはできますが、湯張り終了のお知らせはありません。また、この場合、給湯設定温度で湯張りするため、給湯温度を高温に設定している場合はご注意ください。
- BHP-ZA37FU、BHP-ZA46FUでは湯量お知らせ運転中、食器洗浄機は使用しないでください。

音声ガイドモード・音量を設定する

●台所リモコンの音声ガイドのモードや音声ガイドの音量を設定します。



※下記は、音声ガイド、しんせつ、ガイド・ブザー音量、標準に設定した例です。

<p>1 メニューを押し、メニュー画面を表示させる</p> <p>●メニュー画面が表示されます。</p>	
<p>2 ▲を押し、「その他設定」を選択する</p> <p>決定を押し、決定する</p>	
<p>3 ▲を押し、希望のモードを選択する</p> <p>決定を押し、決定する</p>	
<p>4 ▲を押し、「音声ガイド・ブザー音量」を設定する</p> <p>決定を押し、決定する</p>	
<p>5 ▲を押し、「しない」を選択する</p> <p>決定を押し、決定する</p>	
<p>●設定完了のメッセージが表示され、約10秒後に通常画面に戻ります。</p>	

■しんせつ
すべての操作について、操作内容を音声でお知らせします。

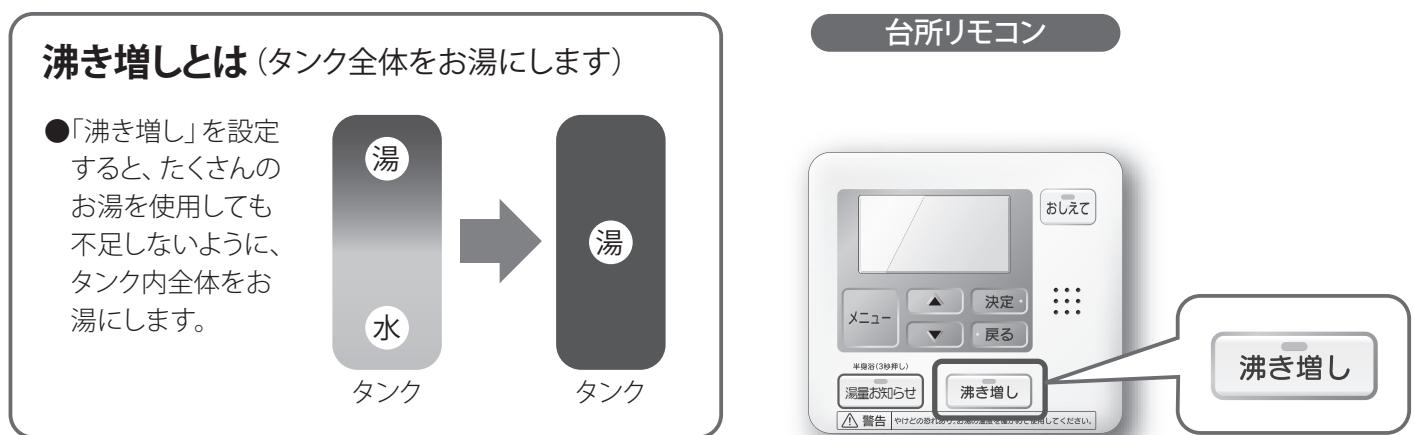
■標準
主な操作をしたときに、操作内容を音声でお知らせします。

■切
操作時は、ブザー（ボタンの操作音）のみで操作したことをお知らせします。

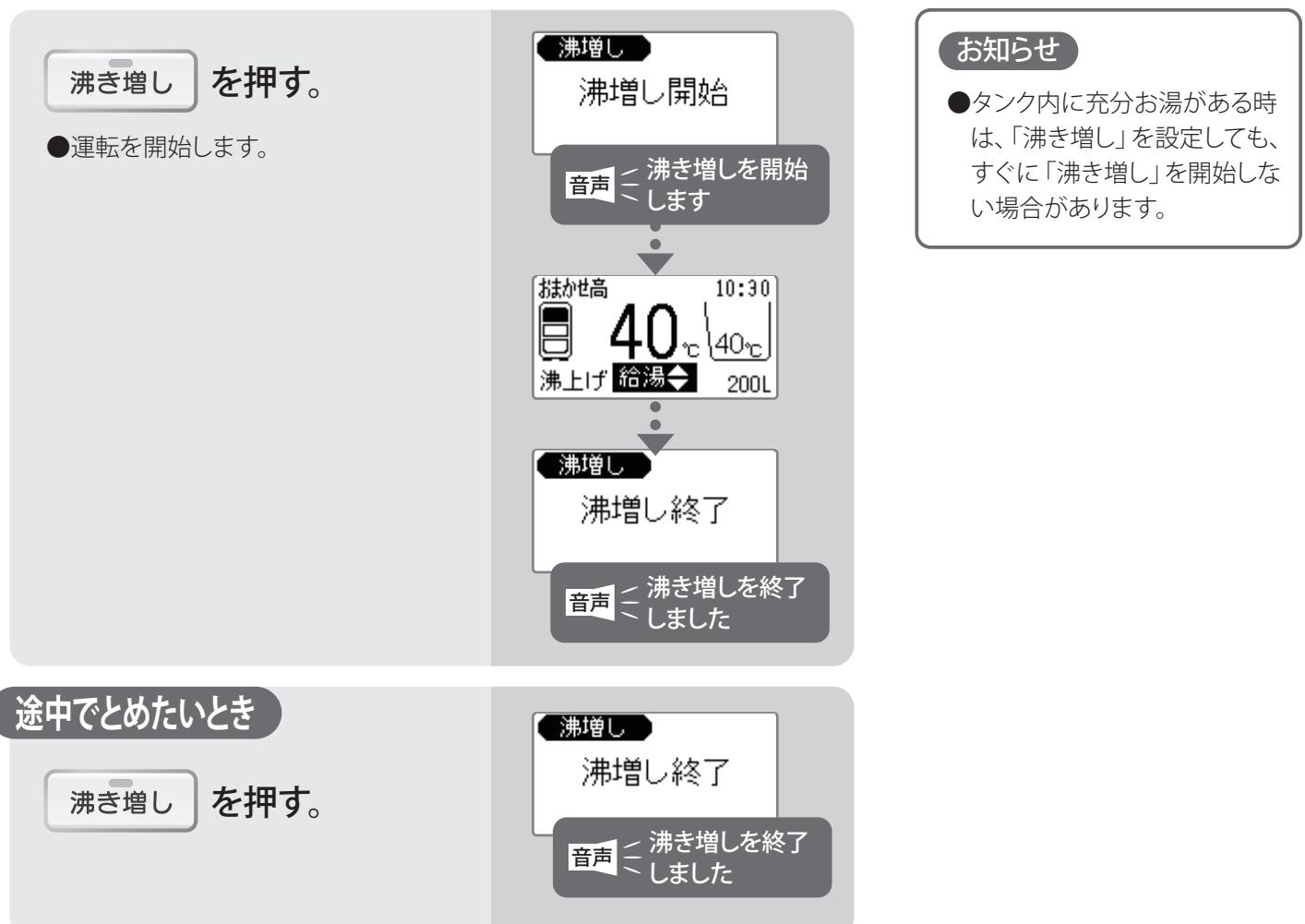
●音量は、「小」・「標準」・「大」・「切」の4種類があります。
「切」に設定すると、音声ガイド、ブザー（ボタンの操作音）の音量が聞こえなくなります。

お湯が不足しそうなとき（沸き増しをする）

- 急な来客などでたくさんのお湯が必要になったとき、「沸き増し」を設定すると1回だけ「沸き増し（沸き上げ）運転」をします。沸き増しが終了すると「沸き増し」の設定は解除されます。昼間時間帯の沸き増しは、電気料金が割高になります。
- 台所リモコンで行います。
- 1時間の沸き上げで、約40°Cのお湯を約120L（冬季）～240L（夏季）つくることができます。（BHP-ZA37FU, BHP-Z37FUの場合）。



台所リモコンで沸き増しをする



使えるお湯の量を知りたいとき (42°C換算)

●タンク内の残りの湯温をもとに42°Cのお湯として、あと何L使用できるかをみることができます。

台所リモコン

1 メニュー を押し、メニュー画面を表示させる

2 ▲ を押し、「湯量確認」を選択する
決定 を押す。

●残湯量(本日)が表示されます。

メニュー を押すと、標準画面に戻ります。

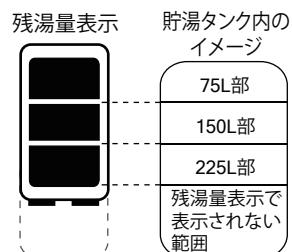
操作画面 (1) メニュー画面
操作画面 (2) 「湯量確認」選択画面
操作画面 (3) 「湯量確認」実行画面 (音声: 湯量確認です)
操作画面 (4) 残湯量表示画面 (音声: 残り湯量です)

お知らせ

● 残湯量(本日)の表示量は、タンク225L部までの湯量を混合水栓で42°Cで給湯した場合に使用できる湯量の目安を示します。沸き上げ直後では、約400L以上を表示します。

(季節により、数値は変化します。)

●タンクの温度センサの値を用いているため、ふろの追焚きや、タンクの放熱でタンクの温度が低下すると、混合水栓などでお湯を使用していくなくても残湯量が変化します。



過去の使用パターンを知りたいとき

●過去1週間の使用パターンを見ることが出来ます。

1 メニュー を押し、メニュー画面を表示させる

2 ▲ を押し、「湯量確認」を選択する
決定 を押す。

●残湯量(本日分)が表示されます。

決定 をもう1度押す。

●使用湯量(週間)が表示されます。

操作画面 (1) メニュー画面
操作画面 (2) 「湯量確認」選択画面
操作画面 (3) 「湯量確認」実行画面 (音声: 湯量確認です)
操作画面 (4) 使用湯量(週間)表示画面 (音声: お湯の使用量です)

お知らせ

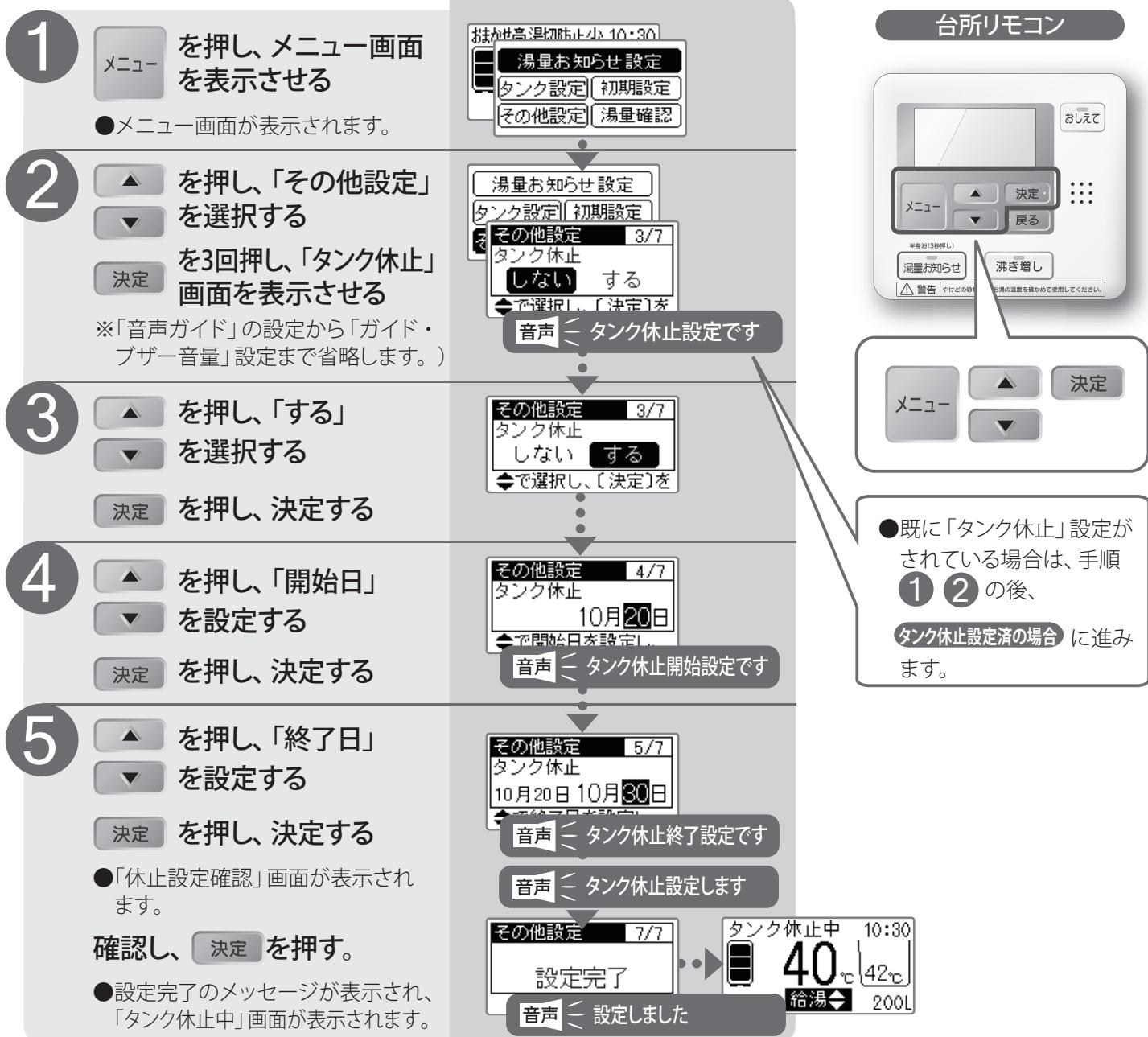
●タンクの全量を90°Cで沸き上げた場合に使用できる湯量を100%としています。

●タンクの放熱は、混合水栓などでお湯を使用していませんが、タンクの温度が低下するため使用量として加味しています。

数日間お湯を使わないとき

- 旅行へ出かけるなど、お湯を使わないことが事前にわかっている場合は、タンクの沸き上げを休止することができます。
- タンク休止日数は1日～15日まで設定できます。

※10月20日から10月30日の間のタンク休止の例です。この設定をすると、10月20日～10月29日は沸き上げを行わず、10月30日の深夜時間帯に沸き上げを行います。10月31日からお湯が使用できます。



タンク休止設定済の場合

- 1 設定済みのタンク休止期間が表示されます。確認後、「▲▼」ボタンで項目を選択します。

- 「継続」：休止設定を継続します。
- 「変更」：休止設定を変更できます。

③の「タンク休止設定」から行ってください。

※既にタンク休止期間中の場合、「変更」はできません。一度「取消」を行ってから再度設定してください。

- 「取消」：休止を取り消します。

- 2 確認し「決定」ボタンを押します。

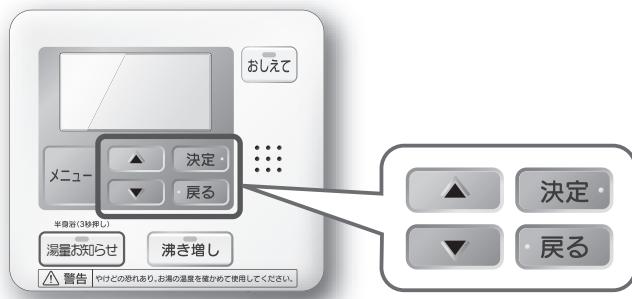
ご注意

- 冬季、凍結のおそれがある場合は、タンク休止の設定はしないでください。

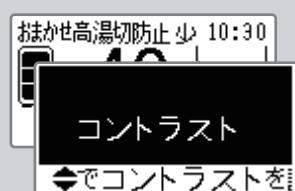
画面が見にくいとき(コントラスト設定)

- リモコンの画面は、見やすいうようにコントラストを調整していますが、リモコンを設置する場所の温度によって薄くなったり、濃くなったりします。薄すぎたり濃すぎたりする場合や、縦線が入っている場合などは、コントラストを設定してください。

台所リモコン



- 1 戻る を3秒長押し、
「コントラスト調整画面」
を表示させる



- 2 ▲ を押し、
▼ 調整する
- 調整がおわったら、
決定 を押し、決定する
- 標準画面に戻ります。



凍結防止について(外気温が低いとき)

- 各配管に保温工事がしてあっても、本体周囲温度が0°C以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、お買い上げの販売店、工事店と相談して適切な凍結防止対策を行ってください。

混合水栓を少し開いておく

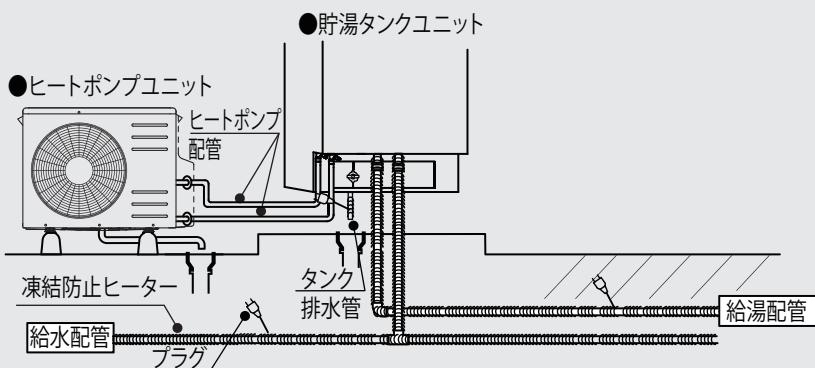
- 1 給湯温度を「低温」に設定します。
- 2 混合水栓の温度調節は、水とお湯の両方が出るように、水とお湯の中間位置にしてください。
- 3 流水量を調節します。
各混合水栓を開け、わずかに水が出るように調節します。

お願い

- 配管が凍結した場合は、タンク専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

凍結防止ヒーターを使う

- 1 凍結防止ヒーターが、下図のように巻かれていることを確認します。
- 2 使用時は、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。
- 3 凍結しない季節になったらプラグをコンセントから抜いてください。



長期間お湯を使用しないとき(タンクの排水のしかた)

- 1ヶ月以上使用しないときは、運転を止め機器および配管の水を抜いてください。
- ふたたび使用するときは、お買い上げの販売店、または工事店に貯湯タンクユニットへの給水を依頼してください。(有償になります。)

1 混合水栓を開く

- ぬるい水が出てくるまで開いておきます。タンク排水時に熱湯が排水されることを防止します。

2 貯湯タンクユニットのお湯を排水する

- 1 漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」(切)にする。
- 2 タンク専用止水栓を閉じる
● 貯湯タンクユニットへの給水を止めます。
- 3 逃し弁のレバーを上げる。
- 4 脚カバーを取り付けている場合は、脚カバーのねじ(4本)を外し、脚カバーを外してください。
- 5 タンク排水栓のハンドルを左へ90°回し、「排水」位置にします。



貯湯タンクユニットの水を排水します。排水口から水があふれないようタンク排水栓の開き具合を調節してください。
※排水は約30分～1時間かかります。

- 6 貯湯タンクユニットの「給水水抜き栓」、「給湯水抜き栓」、「ヒートポンプA側水抜き栓」、「ヒートポンプB側水抜き栓」を開きます。

3 ヒートポンプユニットの水抜きをする

- 1 ねじを取りはずし、カバーをツメ(6か所)が抜けるまで下方へスライドさせてはずします。
- 2 ヒートポンプユニットの「熱交上水抜き栓」、「熱交下水抜き栓」、「ポンプ用水抜き栓」を開きます。

4 排水栓、水抜き栓を閉じる

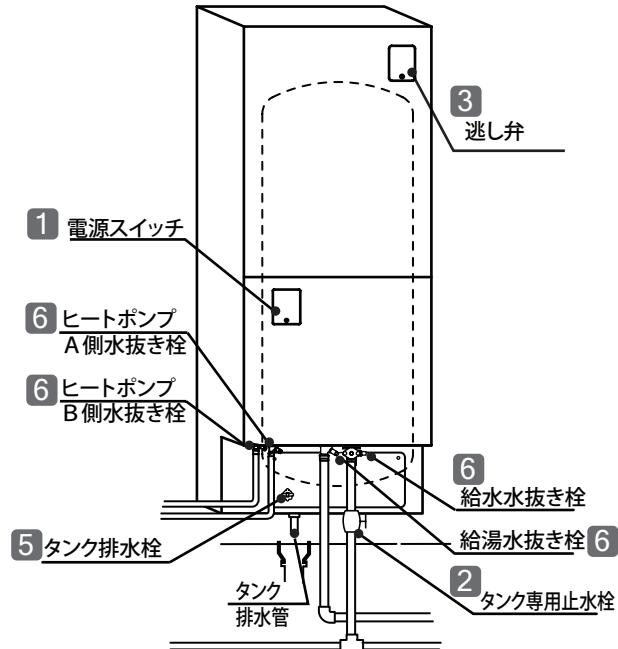
- 排水栓および全ての水抜き栓から水が出なくなったら、

- 1 貯湯タンクユニットの「タンク排水栓」を「通常」位置にし、各「水抜き栓」を閉じます。

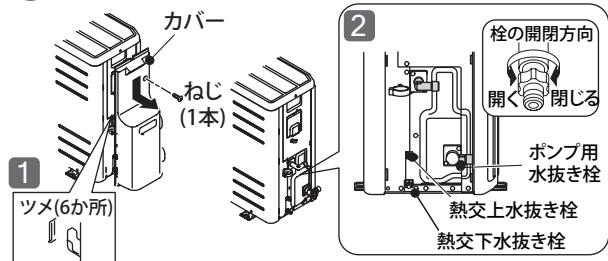
※脚カバーを取り付けている場合は、脚カバーを元通り取り付けてください。

- 2 ヒートポンプユニットの各「水抜き栓」を閉じます。
- 3 ヒートポンプユニットの「カバー」を元通り取り付けてください。

2 貯湯タンクユニット



3 ヒートポンプユニット



お願い

- 水抜き終了後、「排水栓」、各「水抜き栓」が閉まっていることを確認してください。
- 凍結するおそれのある地域の場合は、お買い上げの販売店、工事店に完全な水抜き作業を依頼してください。本ページの水抜き作業を行っても、配管の一部に水が残り、凍結を完全に防止することはできません。
- 前日から準備できる場合、タンク休止設定を行ってください。むだな沸き上げをおこないません。

→ P.32

警告

やけどのおそれあり。



やけど注意

- 高温の湯を排水することがあります。

非常用水として使用するとき

- 万一、災害の時は、タンクのお湯を非常用生活用水として利用できます。
- 飲用はできません。やむを得ず飲用する場合は、必ず沸騰させてください。

1 漏電遮断器の電源スイッチを切る。

2 タンク専用止水栓を閉じる。

- タンクへの給水を止めます。

3 逃し弁を開く。

- タンクに空気を入れ、取水できるようにします。

4 脚力バーを外す。

※脚力バーを取り付けている場合は、脚力バーのねじ（4本）を外し、脚力バーを外してください。

5 取水ホースを取り出す。

- 取水ホースを製品の外に引き出し、バケツなどで受けてください。

6 タンク内のお湯（水）を出す。

1 少し力を加えてハンドルを右に90°回し「非常用水」位置にするとホースからお湯（水）が出ます。

「通常」位置

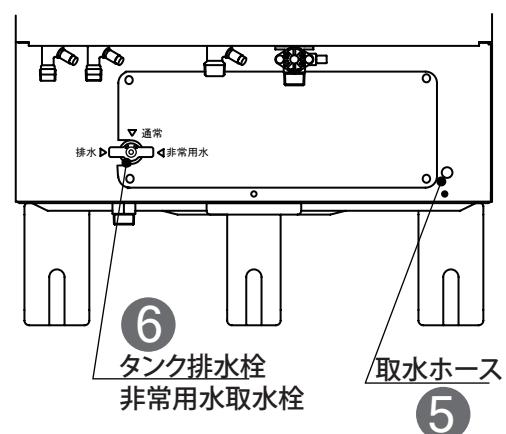
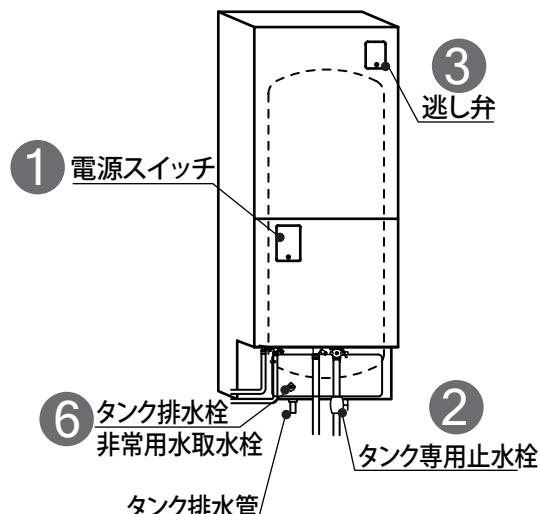


「非常用水」位置



2 止めるときはハンドルを左に90°回し、ハンドルを「通常」位置に合わせください。

●貯湯タンクユニット



お願ひ

- ホースからは、お湯（水）が出てきますが、使いはじめは、湯あかなどが出ますのでしばらく洗い流してください。取水後は、「タンク排水栓」が「通常」位置であることを確認してください。
- 再び給湯機として使用するときは、お買い上げの販売店、または工事店に貯湯タンクユニットへの給水を依頼してください。（有償です。）

警告



やけど注意

取水中、熱湯（最高90°C）が出る場合があります。
非常用水使用時は湯温を確かめて
熱に強い容器を使用してください。

停電のとき

- 停電復帰時、時刻がずれたり設定が変更されている場合がありますので、リモコンの設定を確認してください。
- 停電中は、「給湯」は使用できません。蛇口からお湯を使用する場合は、タンク内にお湯が残っていても設定温度にならない場合があります。
- 停電復帰時のリモコンの設定は下記になります。ご使用の状態に合わせて再設定してください。

リモコン	項目	リモコン設定値
台所リモコン 	時刻	時刻がずれている場合があります。 → P.19
	コントラスト	出荷時の設定に戻ります。 → P.33
	その他	停電になっても設定値は記憶されています。

お願い

停電復帰時は必ず「台所リモコン」の時刻を確認してください。

- 時刻が違っている場合は、電気料金が割高になる場合がありますので、初期設定機能で時刻合わせをしてください。

お知らせ

- 湯量お知らせ運転中に停電した場合は、湯張り終了のお知らせはありません。また、停電復帰後、湯量お知らせ運転は継続しますが、湯張り終了お知らせの前に、浴そうのお湯があふれることがありますのでご注意ください。

断水のとき

- 断水のときは「タンク専用止水栓」を閉じてください。断水中はタンク内に給水されないためお湯は出ません。
- 断水復帰後、水側の蛇口を開けて、水の汚れがなくなったのを確認してから、「タンク専用止水栓」を開いて使用を再開してください。

ご注意

- タンク専用止水栓を閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニットのストレーナ部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- タンク専用止水栓を閉じないでそのまま使用すると、タンクに空気が入り断水復帰後、設定温度のお湯が出なかったり、湯温が安定しない場合があります。

お手入れと点検

日常のお手入れ

■リモコンの掃除

リモコンの表面が汚れたときは、水に濡らした布を固く絞って拭いてください。

●汚れが落ちにくい場合は、台所中性洗剤を薄めて使い、ぬるま湯を含ませた布でふき取ってください。

ご注意 リモコンの掃除は…

●「ふろ用洗剤」「弱アルカリ性の台所洗剤」「ベンジン」「シンナー」などは、リモコンの変形や変色の原因になります。使用しないでください

月に1度のお手入れと点検

■時刻の確認

月に一度は時刻を確認し、正確な時刻に合わせてください。

●リモコンの時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。

→ P.19

■漏電遮断器の点検

●漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

1 テストボタンを押す。

●電源スイッチが「ON」(入)→「OFF」(切)になれば正常です。

2 電源スイッチを「ON」(入)に戻します。

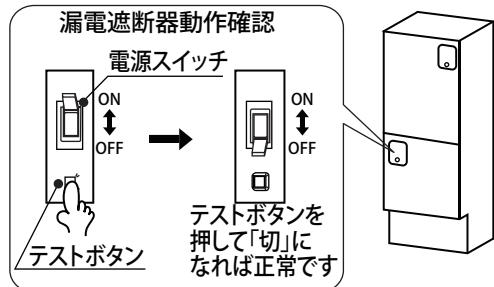
お願い テストボタンを押しても「OFF」(切)にならない場合は、「電源ブレーカー」または、「電源スイッチ」を「OFF」(切)にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

警告

●漏電遮断器の動作を確認する。

動作確認

●故障のまま使用すると感電することがあります。



お手入れと点検(続き)

年に2~3度のお手入れと点検

■ 逃し弁の点検

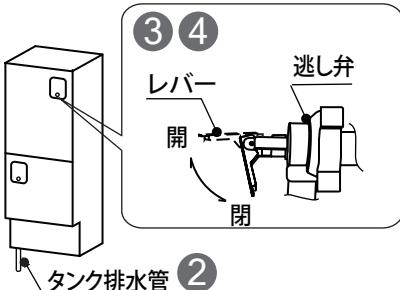
●逃し弁は、沸き上げ時にタンク内の膨張水を排出し、タンク内が高圧になるのを防ぎます。

- 1 沸き上げ中(台所リモコンに「沸上げ」が表示)でないことを確認する。
- 2 タンク排水管からお湯(水)が出ていないことを確認する。
- 3 逃し弁のレバーを2~3回上下させ、上げたとき(開)のみ、タンク排水管からお湯(水)が出ることを確認する。
- 4 逃し弁のレバーを下げて、お湯(水)が止まることを確認する。
●お湯(水)が止まらないときは、レバーを2~3度、上げ下げしてください。

! 警告

逃し弁点検時は、配管に手を触れない。

●手を触るとやけどをすることがあります。



お願い

- 逃し弁の点検は、沸き上げ時に行わないでください。
- 点検後は、必ず逃し弁のレバーを下げて(閉)してください。
- レバーを上げたときにタンク排水管から、お湯(水)が出ない場合や、レバーが下がっているのに、お湯(水)が出る場合は、弁類の故障が考えられます。
漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」(切)にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ

- 沸き上げ中に、少量のお湯を排水するのは正常な動作です。

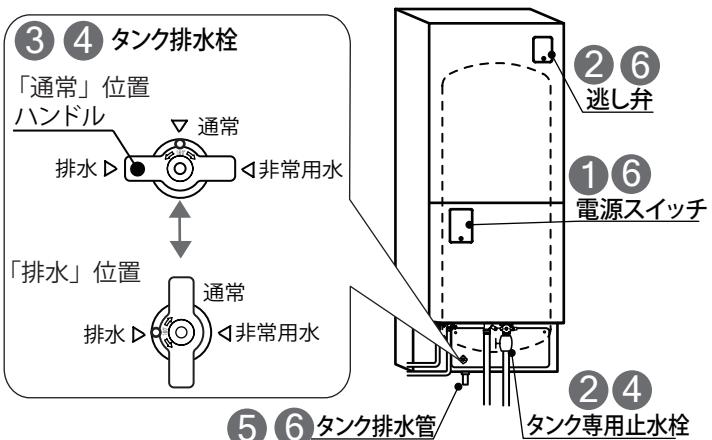
■ タンクのそうじ

- 1 沸き上げ中(台所リモコンに「沸上げ」が表示)でないことを確認し、電源スイッチを「OFF」にする。
- 2 タンク専用止水栓を閉め、逃し弁のレバーを上げる。
- 3 タンク排水栓のハンドルを左に90°回し「排水」位置とし、約2分間排水する。
- 4 タンク排水栓のハンドルを右に90°回し、「通常」位置とし、タンク専用止水栓を開ける。
- 5 タンク排水管から湯が出ないことを確認する。
- 6 タンク排水管から湯(逃し弁からの湯)が出てきたら、逃し弁のレバーを下げ、電源スイッチを「ON」にする。
●湯が止まらない場合は、逃し弁のレバーを2~3度、上げ下げしてください。

! 警告

タンクの排水時は、お湯に手を触れない。

●熱いお湯が出てやけどをすることがあります。



■ 配管の点検

貯湯タンクユニット周囲が漏れていないか、保温材が傷んでいないか点検してください。

- 特に集合住宅(マンション)では、水が漏れると階下に被害を与えます。ドレンホースから、常に水が出ていないことを確認してください。

■定期点検契約(有料)のおすすめ

- 本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4年に1度、専門技術者による定期点検(有料)を行ってください。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。
- 定期点検につきましては、販売店または当社サービスエンジニアリングセンタへご相談ください。
- 点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

項目	内容
据付状態の点検	<ul style="list-style-type: none">●設置状態の点検・配管接続部の水漏れ点検●配管、その他の保温状態の点検●電気絶縁の点検
機能部品の点検	<ul style="list-style-type: none">●電気部品(配線、導通、動作の確認)の点検●弁類の点検(減圧弁、逃し弁)
清掃	<ul style="list-style-type: none">●貯湯タンク内の清掃(沈殿物の除去など)●給水継手のストレーナの清掃

消耗部品について(有料)

消耗部品
●逃し弁
●減圧弁
●パッキン類
●混合弁
●ゴムホース
●センサー類
●三方弁
●電動弁

※上記部品の交換時は、当社純正部品と交換してください。

こんなときは故障ではありません

■タンク排水管からお湯が出ている

- 沸き上げ中（リモコンに「沸き上げ」を表示しているとき）は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。正常な動作です。
ただし、沸き上げ中でないときに、お湯や水が出る場合は弁類の故障が考えられますので点検してください。

■ヒートポンプユニットのドレンから水が出る

- ヒートポンプ運転中（沸き上げ中）は、大気から熱を吸収するときにフィンに結露した水を排水します。
沸き上げを終了すると、水は出なくなります

■夜間時間帯になっても、沸き上げを行わない (ヒートポンプユニットが動かない)

- 給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間になつてもすぐに沸き上げを行いません。
深夜時間帯が終了する時刻に合わせて沸き上げを完了させます。（ピークシフト機能）

■昼間時間帯に沸き上げを行う

- 沸き上げ設定が「たっぷり」「おまかせ・高」の場合、昼間時間帯に沸き上げを行うことがあります。 [→ P.23](#)
- 沸き上げ設定にかかわらず外気温度が低い時は、凍結防止のため昼間時間帯でも沸き上げを行うことがあります。

お湯を使っているとき

■お湯から油が出る、お湯が臭い

- お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざつて出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

■お湯が白く濁って見える

- 水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

■設定温度のお湯が出ない

- 混合水栓から出るお湯は、配管材の放熱によって低くなることがあります。
- タンクのお湯の温度が、設定した給湯温度より低い場合、設定温度のお湯は出ません。湯切防止を設定してください。

[→ P.14](#)

[→ P.24](#)

おふろが…

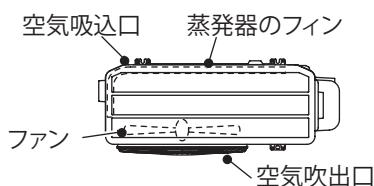
■浴そうのお湯が青く見える

- 光の波長や浴そうの色によって、浴そうのお湯が青く見えることがあります。また、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがあります、異常ではありません。

寒くなると

■沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる

- 冬季運転中は蒸発器に霜がつくことがあります。

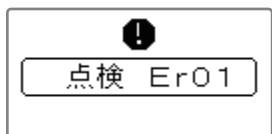


■ヒートポンプユニットが運転／停止を繰り返す

- 気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。

リモコンに点検表示がでたら

■点検が必要な状況になった場合、台所リモコンに点検記号が表示されバックライトが点滅します。



●表示がでたら台所リモコンの「メニュー」キーを押してください。左図の点検表示画面から通常画面に戻ります。



なお、時刻表示部に点検表示が残りバックライトが点滅します。

●表示される点検記号によって以下の処置を行ってください。

■下記の点検記号が表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理コールセンタ」にご連絡ください。

表示	処置	表示	処置
Er 01 ~ 78	●貯湯タンクユニット関係の点検が必要です。	HE 17、20、21	●ヒートポンプ配管の点検が必要です。
HE 01 ~ 16、19	●ヒートポンプユニット関係の点検が必要です。	C - 09	●台所リモコンの「沸き増し」と「戻る」ボタンを同時に5秒以上押し、表示を解除してください。※
HE 22 ~ 44			

※HE-17、HE-20、HE-21、C-09が再度、表示される場合は、ヒートポンプ配管の点検が必要です。お買い上げの販売店または「修理コールセンタ」にご連絡ください。→P.46

お困りのときは

修理を依頼される前に、調べて見ましょう。

こんなときには	原因	処置
リモコンの表示部が消えている (電源が入らない)	●200V 電源ブレーカーが「OFF」(切)になっている	●電源ブレーカーを「ON」(入)にしてください。 →P.16
	●漏電遮断器の電源スイッチが「OFF」になっている	●電源スイッチを「ON」にしてください。再度「OFF」になる場合は、「OFF」のままお買い上げの販売店へご連絡ください。
	●停電している	●停電が終わるまで待ってください。
お湯が出ない お湯の出が悪い	●タンク専用止水栓が閉じている	●タンク専用止水栓を開いてください。 →P.16
	●断水している／給水圧が低い	●断水が終わるのを待ってください。
	●配管が凍結している	●お買い上げの販売店へご連絡ください。
お湯がぬるい お湯が足りない (残湯量の表示が消えている)	●ストレーナにごみがつまっている	●お買い上げの販売店へご連絡ください。 →P.46
	●「湯量お知らせ」運転のオートストップ機能がはたらいている。 (BHP-ZA37FU, -ZA46FU)	●お湯を供給する全ての混合水栓(蛇口)を閉じて、「湯量お知らせ」ボタンを押してください。 →P.27
	●タンク休止の設定になっている。(リモコンに「タンク休止」の表示がある)	●タンク休止を解除してください。 →P.32 ●沸き増しをしてください。 →P.30
お湯がぬるい お湯が足りない (残湯量の表示が消えている)	●タンク設定が、「おまかせ・低」「深夜・低」である	●タンク設定を「おまかせ・高」「深夜・高」にしてください。 →P.23
	●深夜時間帯(夜間沸き上げ運転中)にお湯をたくさん使用した	●沸き増しをしてください。 →P.30 ●深夜時間帯(夜間沸き上げ運転中)に湯張りなど大量のお湯を使うと、翌朝、充分に沸き上がらないことがあります。「湯切防止」を設定してください。 →P.24
	●いつもに比べてお湯をたくさん使用した	●沸き増しをしてください。 →P.30 ●お湯をたくさん使う予定があるときは、前日に沸き上げ温度の設定を高くし、「湯切防止」の設定をしてください。 →P.24
浴そうのお湯があつい	●湯張り温度の設定が高い。	●「湯量お知らせ」の湯張り湯温の設定を低くしてください。 →P.26
浴そうのお湯がぬるい	●湯張り湯温の設定が低い。	●「湯量お知らせ」の湯張り湯温の設定を高くしてください。 →P.26

こんなときには	原因	処置
浴そうのお湯が少ない	●湯張り湯量の設定が少ない。	●「湯量お知らせ」の湯張り量の設定を多くしてください。 → P.26
浴そうのお湯が多い	●湯張り湯量の設定が多い。	●「湯量お知らせ」の湯張り量の設定を少なくしてください。 → P.26
音声ガイドが出ない	●音声ガイドが「切」の設定になっている。	●音声ガイドを「しんせつ」または「標準」の設定にしてください。 → P.29
	●音量設定が「切」になっている。	●「切」以外の音量を設定してください。 → P.29
リモコンを操作しても操作音が出ない	●音量設定が「切」になっている。	●「切」以外の音量を設定してください。 → P.29
タンク排水管から水が出ている	●沸き上げ中に膨張水の排出を行っている。	●沸き上げ中は、タンク内の水の膨張水を排出します。通常一晩で 10L ~ 20L 排出するのが正常です。
	●逃し弁など弁類の故障です。	●逃し弁の点検を行ってください。 → P.39 ●タンク排水栓のハンドル位置を「通常」位置にしてください。 → P.39
湯張りができない (「湯量お知らせ」を受け付けない)	●貯湯タンクのお湯の温度が低い。 (残湯量の表示は出ている)	●沸き増しをしてください。残湯量は約 45°C 以上のお湯の量を表示します。残湯温度が、湯張り温度より約 5°C 以上高くないと、「湯張りができない」「途中で止まる」ことがあります。 → P.14
湯張りが途中で止まる (「湯量お知らせ」を中止する)	●貯湯タンクの残湯量が少ない。 (残湯量の表示が消えている)	→ P.28 → P.30

仕様

■システム

仕様			
型式名	BHP-ZA37FU BHP-Z37FU BHP-ZA46FU BHP-Z46FU		
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型、時間帯別電灯型(通電制御対応)		
種類	屋外型		
電源	単相 200V (50/60Hz)		
最大電流	17A	18A	
沸き上げ温度	約 65 ~ 90°C		
年間給湯効率※7	3.2		

■貯湯タンクユニット

仕様			
型式名	BHP-TAZA371	BHP-TAZ371	BHP-TAZA461 BHP-TAZ461
タンク容量	370L	460L	
最高使用圧力	0.19MPa		
外形寸法	1,835mm(高) × 625mm(幅) × 730mm(奥行)	2,165mm(高) × 625mm(幅) × 730mm(奥行)	
質量(製品質量/満水時質量)	58kg / 約 428kg	66kg / 約 526kg	
消費電力(制御用)	7W		
湯量お知らせ(給湯停止)	オートストップ	手動	オートストップ
			手動

■ヒートポンプユニット

仕様		
型式名	BHP-HA451	BHP-HA601
外形寸法	720mm(高) × 792mm(幅) × 299mm(奥行)	
質量	56kg	59kg
定格加熱能力 / 消費電力 ※2 ※3	4.5 kW / 0.92 kW	6.0 kW / 1.25 kW
冬期高温加熱能力 / 消費電力 ※1 ※2 ※5	4.5 kW / 1.50 kW	6.0 kW / 1.83 kW
夏期加熱能力 / 消費電力 ※2 ※4	4.5 kW / 0.79 kW	4.5 kW / 0.80 kW
運転音 ※6	38dB(A)	40dB(A)
冷媒名	R744 (CO ₂)	

※1 低外気温時は除霜の為、加熱能力が低下することがあります。

※2 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

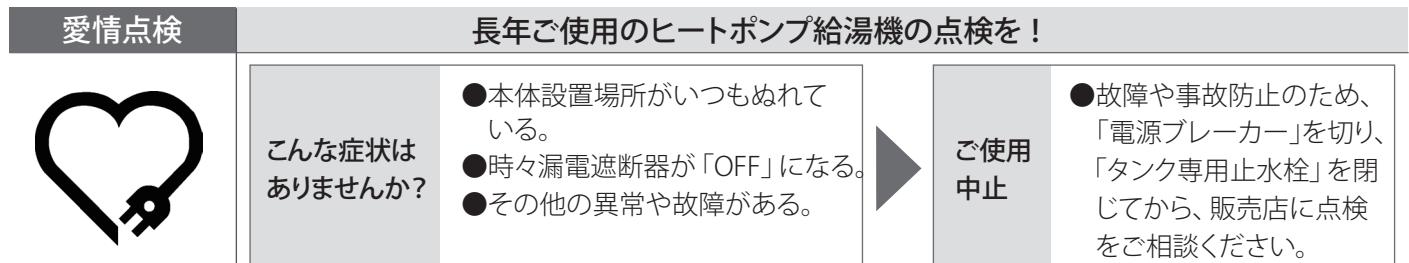
※3 作動条件：外気温(乾球温度/湿球温度) 16°C/12°C、水温 17°C、沸き上げ温度 65°C

※4 作動条件：外気温(乾球温度/湿球温度) 25°C/21°C、水温 24°C、沸き上げ温度 65°C

※5 作動条件：外気温(乾球温度/湿球温度) 7°C/6°C、水温 9°C、沸き上げ温度 90°C

※6 定格条件下での測定(JISのルームエアコンディショナに準じ測定)

※7 (社)日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050:2007Rに基づき、タンク設定「おまかせ 低」にて測定した値です。



保障とアフターサービス

■保証書(添付)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名(販売店名)」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。(取扱説明書、据付工事説明書、明細書なども保証書と一緒に保管してください。)
- 保証期間は、お買い上げいただいた日からヒートポンプユニットの熱交換器とコンプレッサーは3年、タンクは5年、その他の部分は1年です。

■補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年です。
※補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

■不明点や修理に関するご相談は

- お買い上げ販売店または、右記の「サービスエンジニアリングセンタ」にご連絡ください。

■修理を依頼されるときは

- 販売店または「サービスエンジニアリングセンタ」へ下記を連絡ください。

1. 型式名(保証書に記載)
2. 故障の状況
3. お名前、ご住所(付近の目印など)、電話番号
4. 販売店名

修理料金

保証期間中:保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間がすぎている場合:修理によって使用できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします

ご購入年月日	年 月 日
販売店	
電話番号	

■修理コールセンタ

(0120) 649-020 (携帯電話からも可)
受付時間／365日・24時間受付

■技術相談センタ

(0120) 578-011 (携帯電話からも可)
受付時間／9:00～17:00(土日祭日を除く)

■サービスエンジニアリングセンタ

受付時間／9:00～17:00(日祭日を除く)

北海道 (011) 717-5146

〒060-0809
札幌市北区北9条西3-10-1(小田ビル8階)

東北 (022) 225-5972

〒980-0065
仙台市青葉区土樋1-1-11

東京 (03) 3649-3811

〒135-0016
東京都江東区東陽5-29-17(住友不動産東陽ビル)

北陸 (076) 429-6861

〒939-8214
富山市黒崎627-3

中部 (0568) 72-0131

〒485-0072
小牧市元町4-66

関西 (06) 6303-6159

〒532-0022
大阪市淀川区野中南2-11-27

中国 (082) 283-9374

〒735-0029
広島県安芸郡府中町茂陰1-9-20

四国 (087) 833-8701

〒760-0072
高松市花園町1-1-5(花園ビル)

九州 (092) 561-4854

〒815-0031
福岡市南区清水4-9-17

※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

日立アプライアンス株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目16番1号(ニューピア竹芝サウスタワー)

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

用語集

普段聞きなれない
用語や混同しやすい
用語を説明します。



沸上げ

(わきあげ)

貯湯タンクにお湯を貯めるために自動で沸き上げることです。 [→ P.12](#)

沸き増し

(わきまし)

少なくなった貯湯タンク内のお湯の量を増やすために、手動で沸き上げることです。 [→ P.30](#)

湯切防止

(ゆぎればうし)

少なくなった貯湯タンク内のお湯の量を増やすために、昼間の時間帯に自動で沸き上げる機能のことです。 [→ P.24](#)

湯量お知らせ

(ゆりょうおしらせ)

設定した「湯張り温度」のお湯を設定した「湯量」を給湯すると、音声と画面表示でお知らせする機能です。 [→ P.26](#)

電力契約番号

各電力会社の契約制度に対応した弊社独自の番号です。(電力会社の定める番号ではありません)

[→ P.21](#)

オートストップタイプ

「湯量お知らせ」の運転の終わりに、自動で給湯を停止する機能です。おふろのお湯張りに便利です。 [→ P.27](#)

湯量設定

「湯量お知らせ」で給湯する湯量で、40L～540Lの範囲から10L刻みで自由に設定することができます。 [→ P.26](#)

2温度設定

通常の給湯に使う温度と「湯量お知らせ」の給湯温度を、「湯量お知らせ」ボタンで切り替えることができます。 [→ P.26](#)

タンク専用止水栓

(たんくせんようしすいせん)
水道から貯湯タンクに水を給水する配管の途中にある栓です。貯湯タンクへの給水を止める時(排水前など)に閉じます。

[→ P.16](#)

排水栓

(はいすいせん)

タンク内の水を排水するための栓で、排水栓を開くと、タンク排水管から水や湯が排水されます。 [→ P.15](#)

タンク排水管

貯湯タンク内にある水や湯が排水される出口です。熱い湯が出る場合がありますので注意が必要です。 [→ P.16](#)

湯張り温度設定

(ゆはりおんどせってい)
通常の給湯とは別に、「湯量お知らせ」の運転時にのみ使用する給湯温度を設定することができます。 [→ P.26](#)

混合水栓

(こんごうすいせん)

湯水混合水栓ともいいます。水とお湯が混合され蛇口からでます。シングルレバー、ツーハンドル、サーモスタット付と種類があります。混合水栓の特徴を理解し正しくお使いください。 [→ P.17](#)

残湯量

(ざんとうりょう)

貯湯タンクに残っている約45℃～約90℃のお湯の量で、リモコンの標準画面にマークで表示しています。使えるお湯の量とは異なります。 [→ P.14](#)

給湯温度

混合水栓に供給されるお湯の温度です。湯張り温度とは区別しています。混合水栓の蛇口から出るお湯の温度は、季節や配管の長さ、混合水栓の種類によって変ります。 [→ P.25](#)

使えるお湯の量

給湯やふろ湯張りで使えるお湯の量で、タンク内の残湯量をもとに42℃に換算したお湯のめやす量です。台所リモコンの「メニュー」→「湯量確認」で表示できます。給湯やふろ湯張りでは、高温になったタンク内のお湯に水を加えて、設定された温度にしますので、残湯量より多くなります。 [→ P.31](#)